構　造　設　計　標　準　仕　様

適用は■印を記入する。

1．建築物の構造内容

（1）　工事名称　　七ヶ浜町民テニスコート等改築工事

建築場所　　宮城県

（2）　工事種別　　□新　築　　□増　築　　□増改築　　■改　築

（3）　構造種別

□木造（W）　　□補強コンクリートブロック造（CB）　　■鉄骨造（S）

□鉄筋コンクリート造（RC）　　□壁式鉄筋コンクリート造（WRC）

□鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）

□プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）

（4）　階　数　　地下　0階　　地上　1階　　搭屋　0階

（5）　面　積　　建築面積　　96.60 ㎡　　延床面積　　47.25 ㎡

（6）　主要用途　　トイレ

（7）　屋上付属物　□広告塔　　□高架水槽　　kN　　□

□煙　突　　□キュービクル　　kN　　□

（8）　増築計画　　□有（　　　　　　）　■無

（9）　付帯工事　　□門　併　　□擁　壁　　□

（10）特別な荷重　□エレベータ　　人乗（ロープ式　油圧式）　□ホイスト　　kN

□冷暖房屋外機　　kN　　□受水槽　　kN

2．使用構造材料

（1）コンクリート

適用個所	種　類	設計基準強度 Fc＝N／mm²	調合管理強度 Fq＝N／mm²	スランプ cm	備　考
躯体全般	普　通	21	24＋S	18	
押えコンクリート	普　通	18	18	15	
捨てコンクリート	普　通	16	16	15	

※構造体強度補正値（S）については、平成22年度版　公共建築工事標準仕様書　6章　6．4．5による。

（2）コンクリートブロック（CB）

□A種　□B種　□C種　　厚　□100　□120　□150　□190

（3）鉄　筋

	種　類	径	使用個所	継手工法
異形鉄筋	■SD295A	D10～D16	躯体全般	■重ね継手
	■SD345	D19～D25	柱型、基礎梁主筋	■ガス圧接継手
	□SD390			
	□KW785			
丸　鋼	□SR235			□特殊継手
溶接金網	□			（　　　　）

（4）鉄　骨

	種　類	使用個所	現場溶接	備　考
鋼　材	■SS400	梁、間柱、その他	□有　■無	JIS G 3101
	■STKR400	柱	□有　■無	JIS G 3466
	■SN490C	通しダイヤフラム、ベースプレート	□有　■無	JIS G 3136
	□SSC400		□有　■無	JIS G 3350
	■SNR400B	水平ブレース	□有　■無	JIS G 3138
備　考	□溶融亜鉛めっき　JIS H 8641　2種とする。			□HDZ55（板厚　6mm以上） □HDZ45（板厚3．2mm以上） □HDZ35（板厚1．6mm以上）

（5）ボルト

□高力ボルト　F10T　□S10T認定品（□M12、□M16、□M20、□M22、□M24）

■溶融亜鉛めっき高力ボルト　F8T認定品（□M12、■M16、□M20、□M22、□M24）

□中ボルト　　高力ボルトすべり係数試験　□要　□否

■アンカーボルト　柱断面表参照

□スタッドボルト

（6）屋根、床材、壁

屋　根　材　：　ガルバリウム鋼板　t=0.35

外　壁　材　：　金属系サイディング　t=15

コンクリート打放し+撥水材塗布

床　　　材　：　磁器質タイル貼り

コンクリート打放しの上 モルタル金コテ仕上げ

3．地盤

（1）地盤調査資料

■有（■敷地内　□近隣）　□ボーリング調査　□平板載荷試験　□水平地盤反力係数の測定

■スウェーデン式サウンディング試験　　□無（□調査予定　□有　　□無）

（2）地盤調査計画

□ボーリング調査　□静的貫入試験　□標準貫入試験　□水平地盤反力係数の測定

□土質試験　　□物理探査　　□平板載荷試験　□試験堀（支持層の確認）

（3）地盤調査及び試験杭の結果により杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

（4）ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）

調査地番　：

ボーリング　　孔内水位　GL-　　m

深度	土　質	N値	標準貫入試験 10 20 30 40 50 60	深度	土　質	N値	標準貫入試験 10 20 30 40 50 60
2				17			
1				18			
0				19			
1				20			
2				21			
3				22			
4				23			
5				24			
6				25			
7				26			
8				27			
9				28			
10				29			
11				30			
12				31			
13				32			
14				33			
15				34			
16				35			
17				36			

・調査位置図

4．地業工事

（1）直接基礎　□ベタ基礎　■布基礎　□独立基礎　□試験堀（□有　□無）

深さ設計 GL-0.93～1.73m　　支持層－

長期許容耐力度 120 KN/m2　　地盤改良－スーパーラップル工法

（2）杭基礎　支持層－

杭　種	材　料	施工法	備　考
□RC　□PC □節付PHC　□H鋼 □鋼管 □摩擦杭	PC　（□A種　□B種　□C種） PHC（□A種　□B種　□C種） 鋼材（□SS400□STK400）	□打込み（　　　） □埋込み（　　　） □ □	 大臣認定大　　号 年　月　日
□場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc＝ セメント量 鉄筋　主筋　SD HOOP　SD	□オールケーシング　□拡底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル　□ミニアース □BH　□深礎｛□手堀　□機械堀	拡底杭 日本建築センター認定 第　　号 年　月　日

杭仕様　■施工計画書承認　■杭施工結果報告書

試験杭　（□有　□無）（□打込み　□載荷）　本

杭径（mm）	設計支持力（kN／本）	杭先端深さ（m）	本　数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事

（1）コンクリート

■　普通コンクリートは、JIS　A5308によるJIS表示許可工場で製造されたコンクリートとし、施工に関してはJASS5による。

■　耐久設計基準強度　■短期　18N／mm²　□標準　24N／mm²
□長期　30N／mm²　□超長期　36N／mm²

■　セメントは、JIS　R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。

■　計画調合は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
水セメント比　65％以下　　単位水量　185kg／m³　以下
単位セメント量　270kg／m³　混和剤　AE減水剤（空気量　4．5％）

■　フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び濃く定期の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

■　構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（JASS5T－603）は、現場水中養生、又は現場封かん養生とし、採取は打込み工区ごと、打込み日ごととする。又、打込み量が150m³を超える場合は、150m³ごと、又はその端数ごとに1回を標準とする。
1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本を採取する。
なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。

■　寒中、暑中その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。

■　打込み、締め固めの方法は、JIS　A　8610　コンクリート棒形振動機を使用し、密実に充填する。

■　打継ぎ部の処理方法は次による。
・打継ぎ面を鉄筋と垂直にする。
・構造部材の耐力低下が少なく、かつ打継ぎ部の処理が円滑に行える形状とする。
・打継ぎ部の鉄筋は連続している。（EXP．Jを除く）

■　ポンプ打ちコンクリートは、打込む位置に出来るだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士、又は同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

■　打込み後のコンクリート養生方法は次による。
・スラブのコンクリートは、必要に応じて打込み終了後、24時間シート等により適切な養生を行う。
・打込み後のコンクリートは、散水その他の方法で湿潤に保つ。その養生期間はポルトランドセメントを用いる場合は3日間以上、普通ポルトランドセメントを用いる場合は5日間以上、その他のセメントを用いる場合は7日間以上とする。
・硬化中のコンクリートに有害な衝撃、振動及び過大な荷重を与えないよう、コンクリートの打込み後、少なくても1日間はその上で作業をしたり歩行をしてはならない。

（2）鉄　筋

■　鉄筋はJIS　G3112の規格品を標準とする。

■　鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」又は「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」による。

■　D19未満は、全て重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、
公益社団法人日本鉄筋継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。

■　ガス圧接部の抜取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200箇所を超える時は、200箇所ごと）に1回行い、1回の試験は30箇所以上とする。
外観検査　■有　□無　　引張試験　■有　□無　　超音波探傷試験　□有　■無

■　柱の帯筋（HOOP）の加工方法は、
■H型（タガ型）□W型（溶接型）□S型（スパイラル型）とする。

□　コンクリート及び鉄筋の試験は工事監理者の承認のうえ、指定の試験機関で行うこと。
試験機関名
代行業者名
（代行業者名とは、試験・検査に伴う業務を代行する者を言う）

（3）型　枠

■　材料　合板厚　12m／mを標準とする。　□

■　型枠存置期間

種類	せき板				支柱		
部位	基礎、梁側、柱、壁		スラブ下、梁下		スラブ下		梁下
セメントの種類 ／ 存置期間の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの材令（日） 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
5℃－15℃	3	5	6	10	12	25	28
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5　N／mm²		設計基準強度の50％		設計基準強度の 85％		設計基準強度の 100％

注）1　片持ち梁、庇、スパン9．0m以上の梁下は、工事監理者の指示による。

注）2　大梁の支柱の盛りかえは行わない。又、その他の梁の場合も原則として行わない。

注）3　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注）4　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材、又はこれに代わるものを置く。

注）5　支柱の盛りかえは、小梁が終ってからスラブを行う。
一時に全部の支柱を取払って、盛りかえをしてはならない。

注）6　上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6．鉄骨工事

（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による

■日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」

■鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

□

（2）工事監理者の承認を必要とするもの

■製作工場　■製作要領書　■工作図　■施工計画書

■建設省告示第1103号による認定工場（全国鉄構工業連合会　M　グレード以上）

■材料規格証明書又は試験成績書

■鋼　材　■高力ボルト　□特殊ボルト　□スタッドボルト

■社内検査表　□　□

（3）工事監理者が行う検査項目

（■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）

■現寸検査　■組立・開先検査　■製品検査

□建方検査　□　□

（4）接合部の溶接は下記によること

■日本建築学会「溶接工作規準、同解説　Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」

■日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工場現場施工編」

（5）接合部の検査

■溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率％ 社内	第三者	工事監理者	備　考
■突合せ溶接部 □	超音波探傷試験	100％	30％	任　意	柱の現場溶接部については、第三者は100％とする
□	外観（目視）検査	100％	100％	100％	
□		任　意	任　意	任　意	
第三者検査機関名	CIW認定業者				
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社を言う。					

注）現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

■　高力ボルトは「JIS　B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤錆状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で、表面粗さが50μm以上である場合は、赤錆は発生しないままでよい。

■　高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。又、締付けは原則として2度締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

（6）溶融亜鉛めっき高力ボルトの施工

■　高力ボルト摩擦接合部の摩擦面は、ブラスト処理又は、特殊りん酸亜鉛処理を施すものとする。特殊りん酸亜鉛処理を施す場合は、実験等によりすべり係数値が0．40以上得られることを確認すること。

■　1次締めは、仮ボルトを締付けて部材の密着を確認した後、全ボルトについて表に示すトルクでナットを回転させて行う。

呼び径	1次締付けトルク（N・m）
M16	約100
M20・M22	約150
M24	約200
M27・M30	約250

■　1次締付け後ボルト・ナット・座金および部材にわたるマークを施す。

■　本締めは、1次締付け完了後を基点としてナットを120°回転させて行う。ただし、ボルトの長さが呼び径の5倍を超える場合、ナットの回転量は実験により求める。

■　締付け後の検査は、目視によりナットの全数について行い、規定のナット回転量に対して±30°の範囲にあるものを合格とする。この範囲を超えて締付けられた高力ボルトは取り替える。
ナット回転量の不足している高力ボルトは、所要のナット回転量まで追い締めする。

（7）防錆塗装

■　防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めのペイントは、JIS　K5621、4つ星2回塗りを標準とする。

■　現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

7．設備関係

■　特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。

■　設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。

■　床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1／3以下とし、管の間隔を5cm以上とする。

8．その他

■　諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。

■　各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

■　石綿製品の使用禁止
当工事においては労働安全衛生法施行令にて規制された石綿を含有する製品・資材を使用しない。

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES

〒980-0871　仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02　TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823

㈱構造プランニング
一級建築士登録 第320271号
清水 猛

一級建築士
NO.233021
鈴木　弘二

DATE　2012.11.22
NAME　INUKAI
CHECK　SUZUKI-D

PROJECT　七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING　構造設計標準仕様
SCALE　NON

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES

〒980-0871　仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02　TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823

㈱構造プランニング
一級建築士登録 第320271号
清水 猛

一級建築士
NO.233021
鈴木　弘二

DATE　2012.11.22
NAME　INUKAI
CHECK　SUZUKI-D

PROJECT　七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING　鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）
SCALE　NON

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES	㈱構造プランニング 一級建築士登録 第320271号 清水 猛	一級建築士 NO.233021 鈴木 弘二	DATE 2012.11.22 NAME INUKAI CHECK SUZUKI-D	PROJECT 七ヶ浜町民テニスコート等改築工事 DRAWING 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２） SCALE NON	PAGE S-03

〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02 TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823

鉄骨構造標準図（１）

１．一般事項

（１）材料及び検査

（ａ）構造設計仕様による
（ｂ）適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが４０ｍｍ以下のものとする
（ｃ）社内検査の検査成績書には、社内超音波探傷試験その他の結果を添付する

（２）工作一般

（ａ）鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
（ｂ）鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
（ｃ）高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする

（３）高力ボルト接合

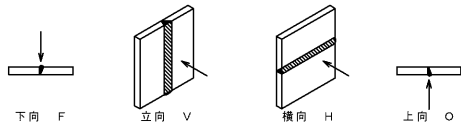
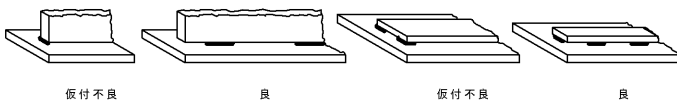
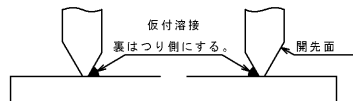
（ａ）本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

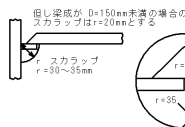
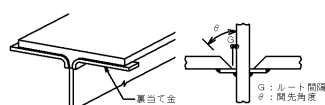
（４）溶接接合

（ａ）溶接工
溶接工は施工する溶接に適応するＪＩＳ　Ｚ３８０１（手溶接）又はＪＩＳ　Ｚ３８４１（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

（ｂ）溶接機器
（イ）交流アーク溶接機　300A～500A
（ロ）アークエアーガウジング機（直流）
（ハ）サブマージアーク溶接機一式
（ニ）炭酸ガスアーク半自動溶接機
（ホ）溶接電流を測定する電流計
（ヘ）溶接棒乾燥器

（ｃ）溶接方法
アーク手溶接（ＭＣ）
セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接（ＮＧＣ）
ガスシールドアーク半自動溶接（ＧＣ）
アークエアーガウジング（ＡＡＧ）

（ｄ）溶接姿勢

（ｅ）仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う
（イ）仮付位置
仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

（ロ）突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する

（ｆ）溶接施工
（イ）エンドタブ
Ⅰ）突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
Ⅱ）エンドタブの材質は、母材と同質とする
Ⅲ）エンドタブの長さは、ＭＣ：35mm以上
ＮＧＣ、ＧＣ：40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
Ⅳ）プレス鋼板タブ、固形ダブ使用については、資料を提出し設計者又は工事監理者の承認を得る

（ロ）裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で 6mm、半自動溶接で 9mm以上とする
（ハ）スカラップ　半径は30～35mmと10mmのダブルアールとする

（ニ）　ノンスカラップ工法

（ホ）裏はつり
規準図の溶接においてＡＡＧと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークを付ける
（ヘ）現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う

（５）塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

２．溶接規準図

（注）ｆ：余盛　Ｇ：ルート間隔　Ｒ：フェース　Ｓ：脚長　（単位　ｍｍ）

（１）　スミ肉溶接

Ｓ＝０．８ｔ
但し片面溶接の場合はＳ＝ｔとする
ｔはｔ１、ｔ２の小なる方とする
余盛は（１＋０．１Ｓ）ｍｍ以下とする

t	t≦16mm

（２）　部分溶け込み溶接（使用箇所に注意）

ｔ／４≦Ｓ≦１０ｍｍ
ｔ≦ｔ１

t	t＞16mm
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ
備　考	両側に補強すみ肉溶接を付加する

（３）　突合せ溶接　（Ⅰ）　平継手

１≦ｆ≦２ｍｍ
Ｇ＝ｔ／２（ｔ／３）

t	t≦6mm
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ
備　考	ＡＡＧ　　（　）内は、ＧＣの場合

１≦ｆ≦４ｍｍ

t	5＜t≦19mm
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ
備　考	ＡＡＧ

１≦ｆ≦４ｍｍ

	MC, NGC				GC			
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6＜t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	8
12≦t≦19	35°	9	6	5	45°	6	6	8
t＞19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ							
備　考								

１≦ｆ≦４ｍｍ

	MC, NGC				GC			
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6＜t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	8
12≦t≦19	35°	9	6	5	45°	6	6	8
t＞19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ							
備　考								

（Ⅱ）　Ｔ型継手

ｔ／４≦ｆ≦１０ｍｍ

t	6＜t＜19mm
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ
備　考	両側に補強すみ肉溶接を付加する　　ＡＡＧ

ｔ／４≦ｆ≦１０ｍｍ

	MC, NGC				GC			
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	8
12≦t＜16	35°	9	6	5	45°	6	6	8
16≦t	35°	9	9	8	35°	9	9	6
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ							
備　考	補強すみ肉溶接を付加する							

ｔ／４≦ｆ≦１０ｍｍ

t	t≧19mm
溶接姿勢	Ｆ．Ｖ
備　考	両側に補強すみ肉溶接を付加する ＡＡＧ（　）内はＧＣでＦ．Ｈの場合

Ｔ型突合せ継手余盛	のど厚ｔｍｍ	余盛の高さｍｍ
	ｔ≦４	１
	４＜ｔ≦１２	２
	１２＜ｔ≦１９	３
	ｔ＞１９	４

（４）　フレアー溶接

Ｋ型の場合

寸法（ｍｍ）			備　考
φ	B	S	
９	７	４	・フレアー溶接長は、鋼板に接する余長とする
１３	８	４．５	・９ｍｍ～１６ｍｍは１パス以上
１６	９	５	１９ｍｍ以上は２パス以上とする
１９	１０	６	溶接棒角度θは３０°～４０°とする
２２	１１	７	
２５	１２	８	

Ｘ型の場合

寸法（ｍｍ）			備　考
φ	L	B	
９	６	４	・片面フレアー溶接（Ｖ型）の場合もこれに準ずる
１３	７	５	・余長は１．５ｍｍ未満とする
１６	８	６	・径の異なる寸法差は≦４ｍｍとする
１９	９	７	
２２	１０	８	

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES
〒980-0871　仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02　TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823
㈱構造プランニング
一級建築士登録 第320271号
清水 猛
一級建築士
NO.233021
鈴木　弘二

DATE　2012.11.22
NAME　INUKAI
CHECK　SUZUKI-D

PROJECT　七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING　鉄骨構造標準図（１）
SCALE　NON

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES

〒980-0871　仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02　TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823

㈱構造プランニング
一級建築士登録 第320271号
清水 猛

一級建築士
NO.233021
鈴木　弘二

DATE　2012.11.22
NAME　INUKAI
CHECK　SUZUKI-D

PROJECT　七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING　鉄骨構造標準図（２）
SCALE　NON

F1

FS1 FS1 FS1 FS1 FS1 FS1

W18 W18 W18 W18 W18 W18

梁下増打範囲

F2

6,200 5,800 3,500 1,500 200 800 100

2,000 2,000 2,000 2,000 2,000 2,000 2,000 2,000

4,000 4,000 4,000 4,000

16,000

X1 X2 X3 X4 X5

Y1 Y2 Y3 Y4

柱芯 基礎芯

基礎・ピット伏図　S=1/50

特記なき限り下記による。

1．基礎下端　：　GL-1,730(F1) GL-930(F2)

2．▨ はピット範囲を示す。

3．ピット天端　：　GL-1,580(1FL-1,710)

4．▨ ：　増打を示す。

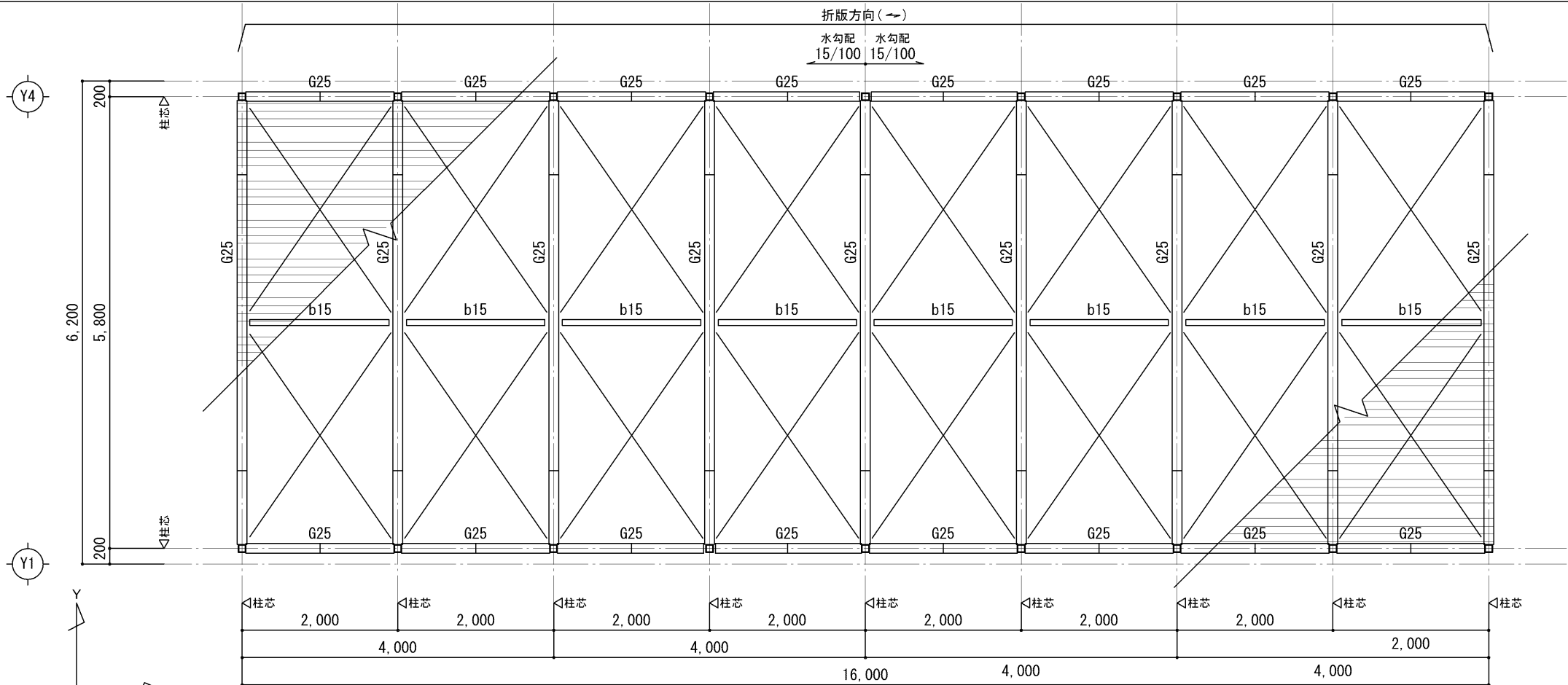
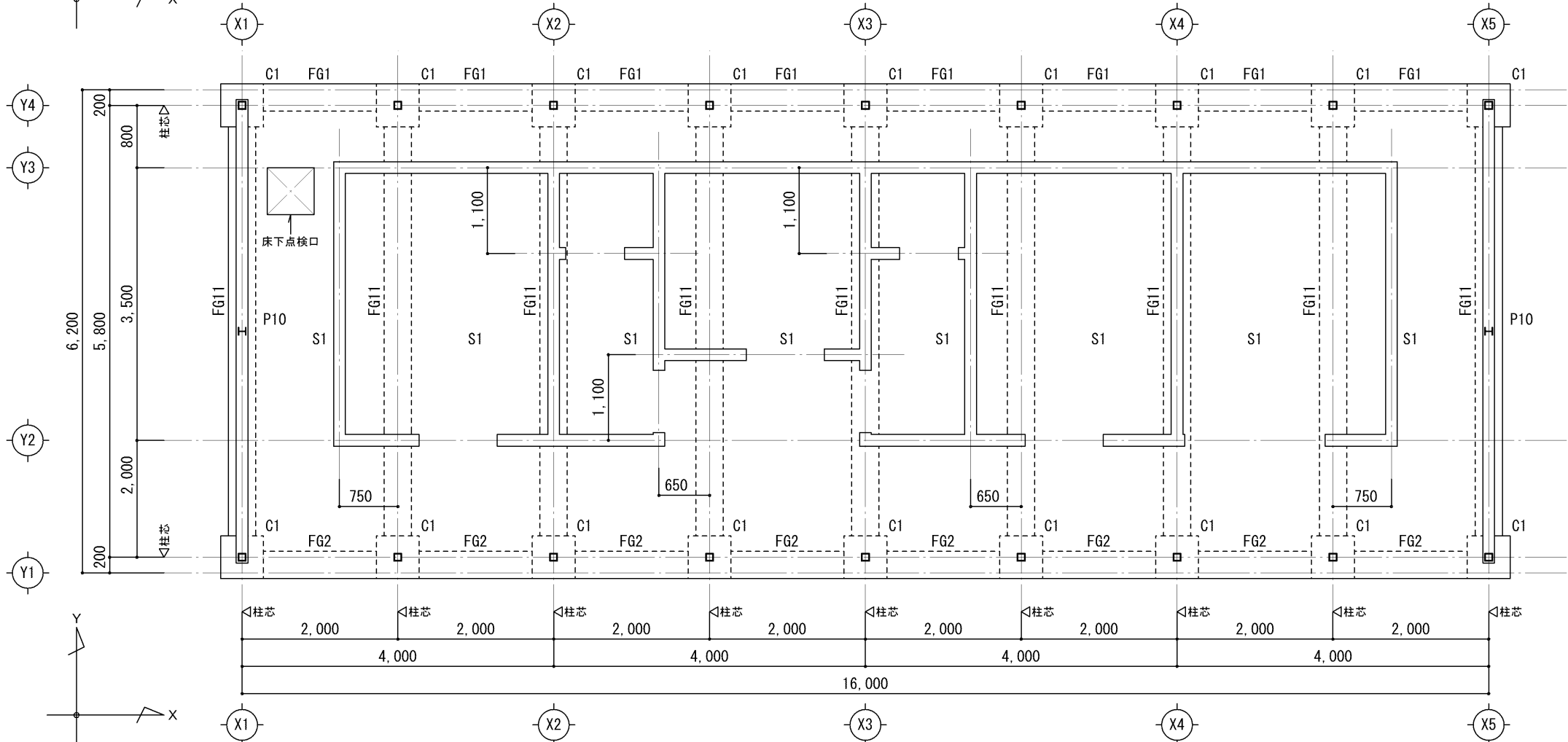
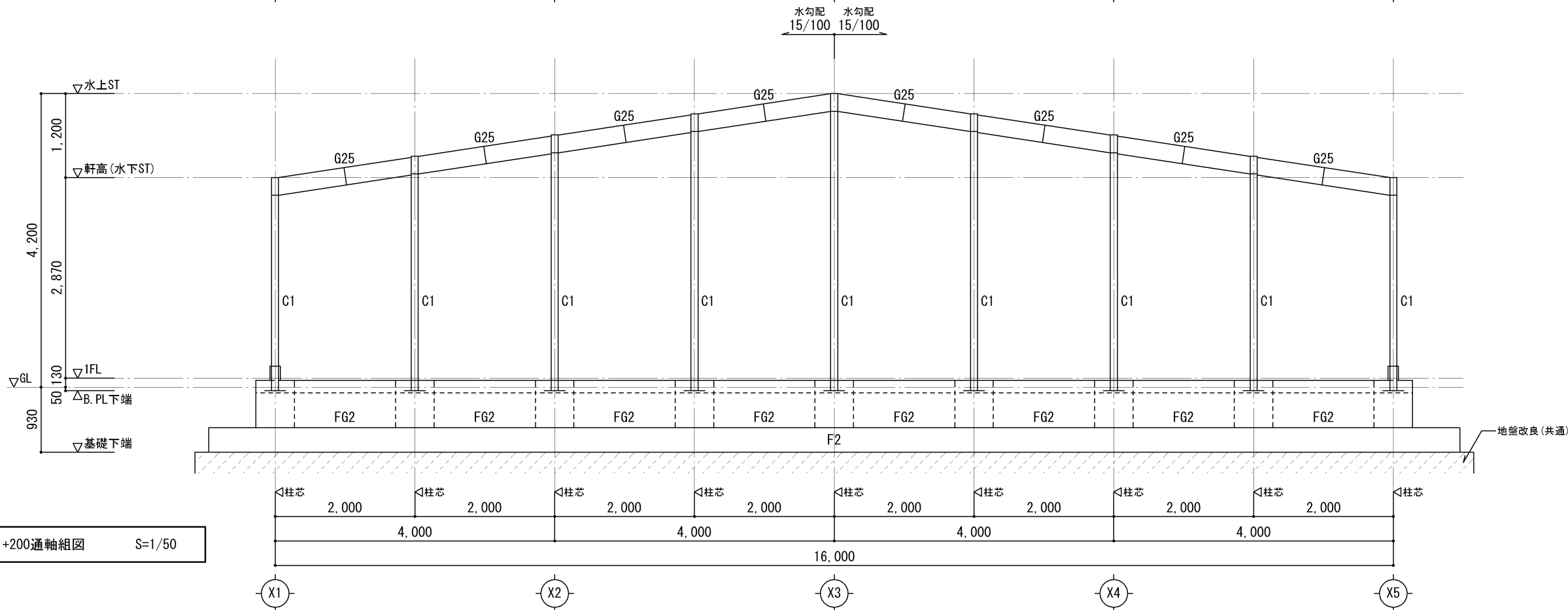
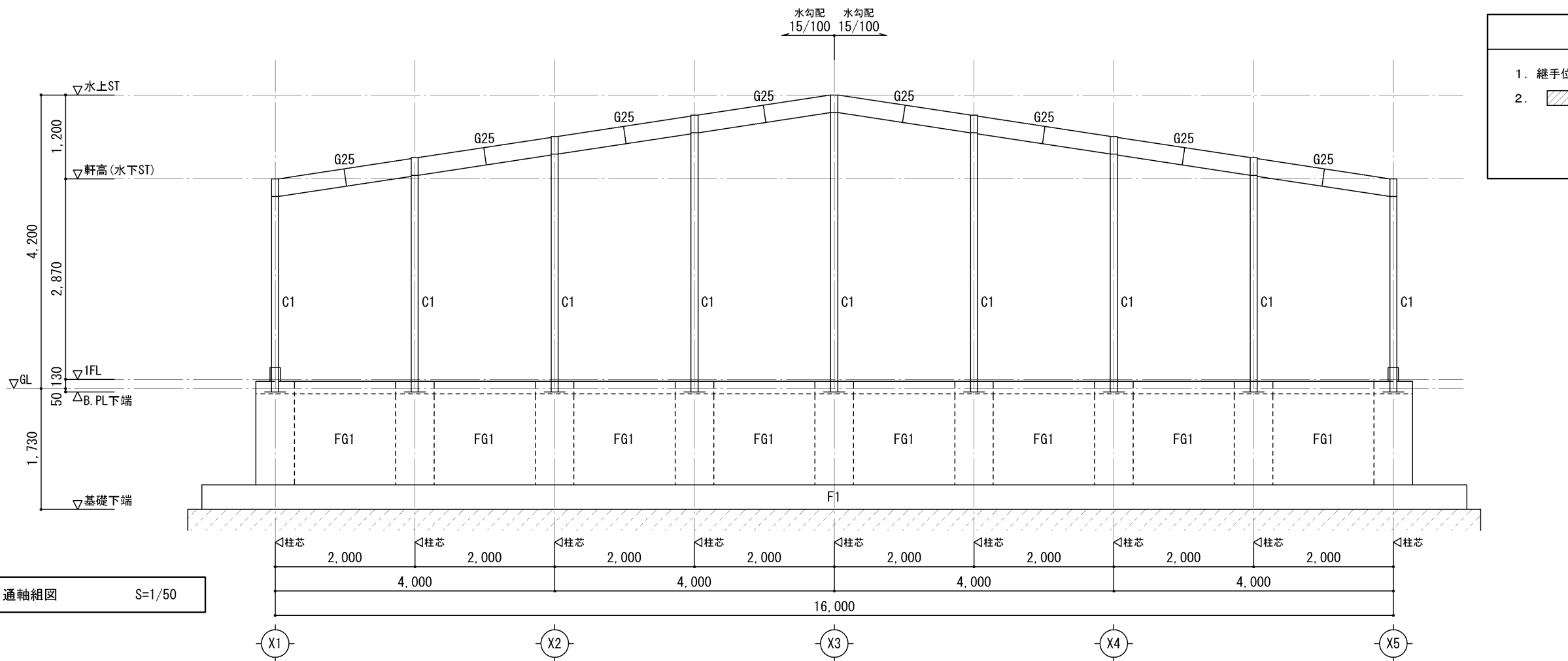
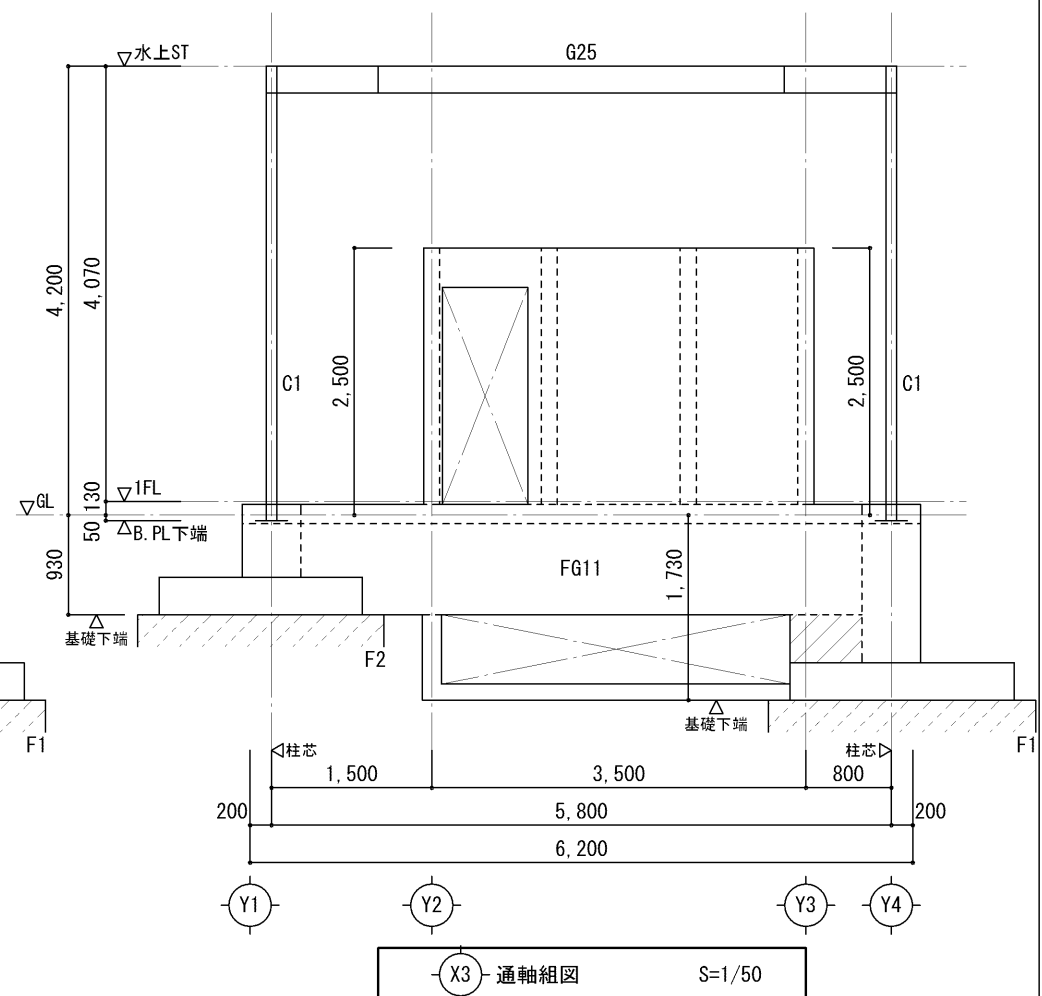
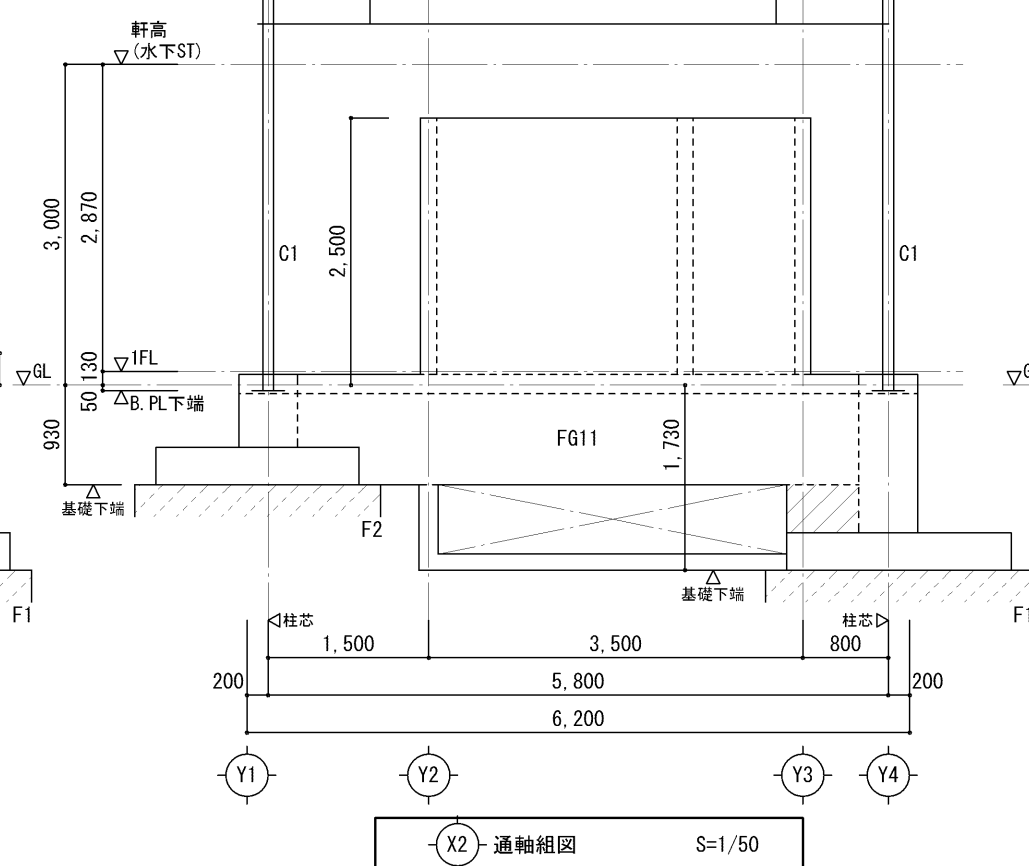
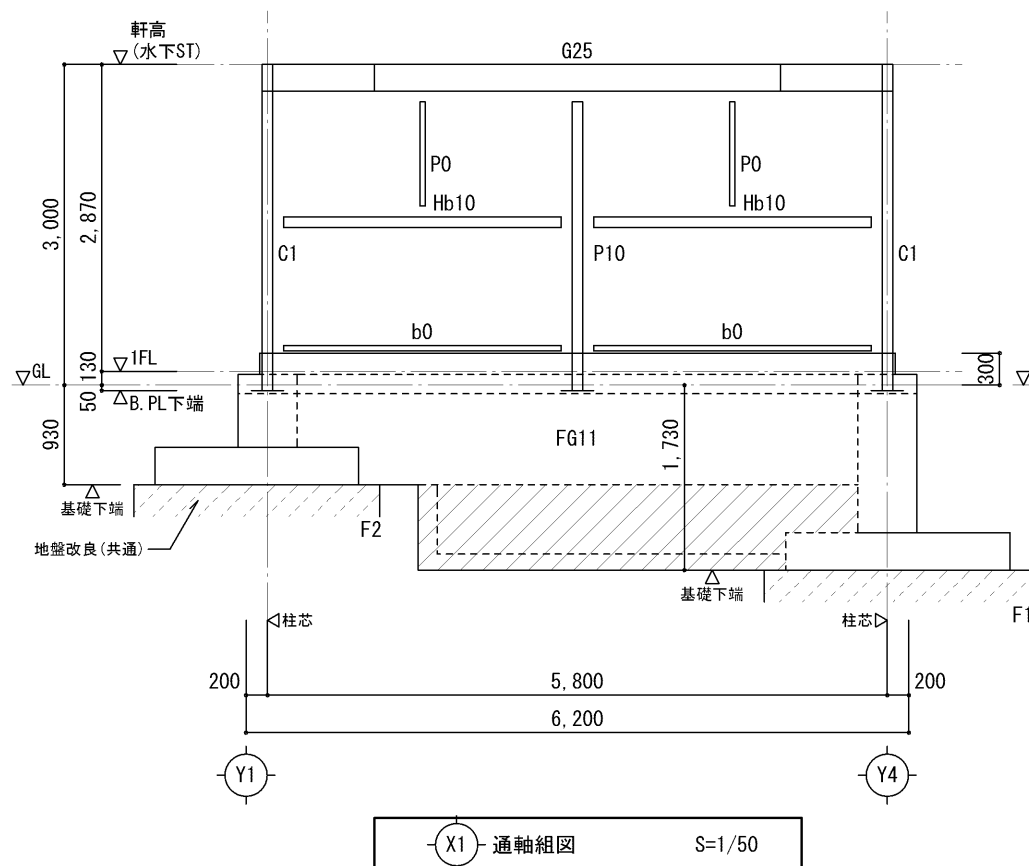
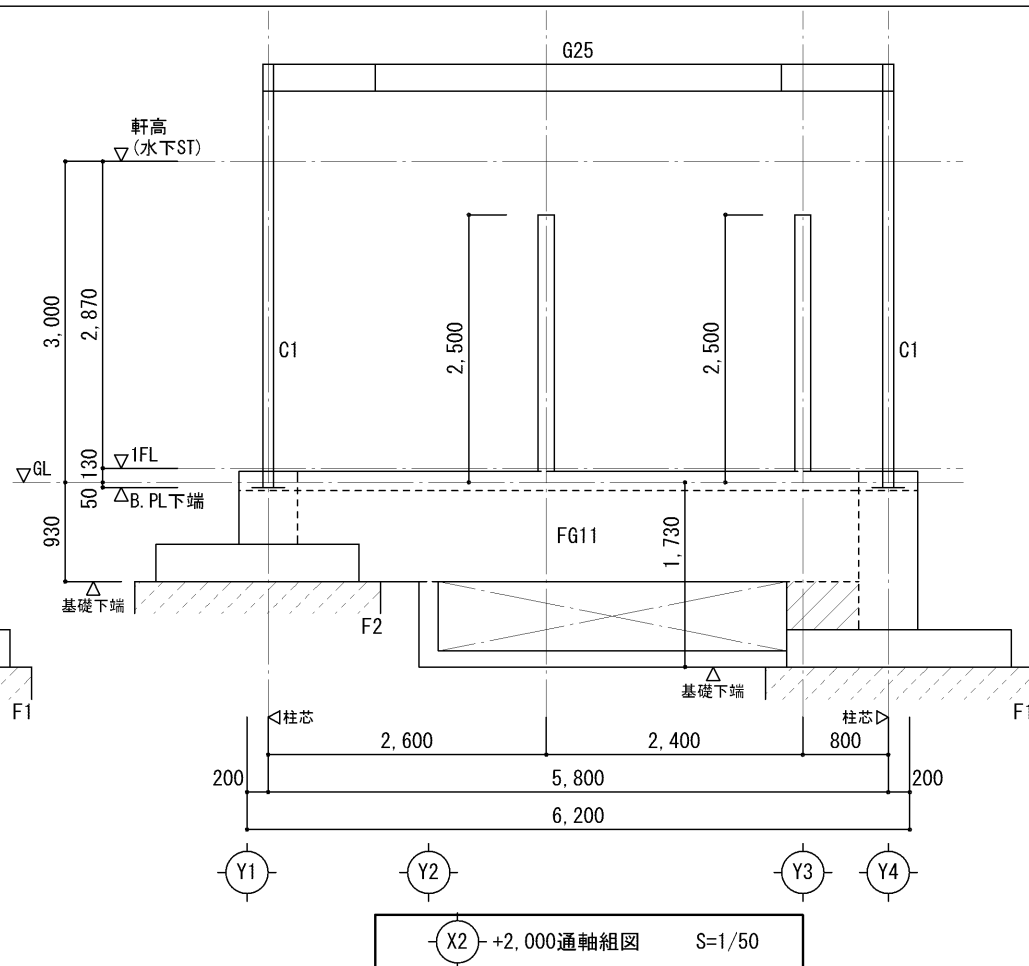
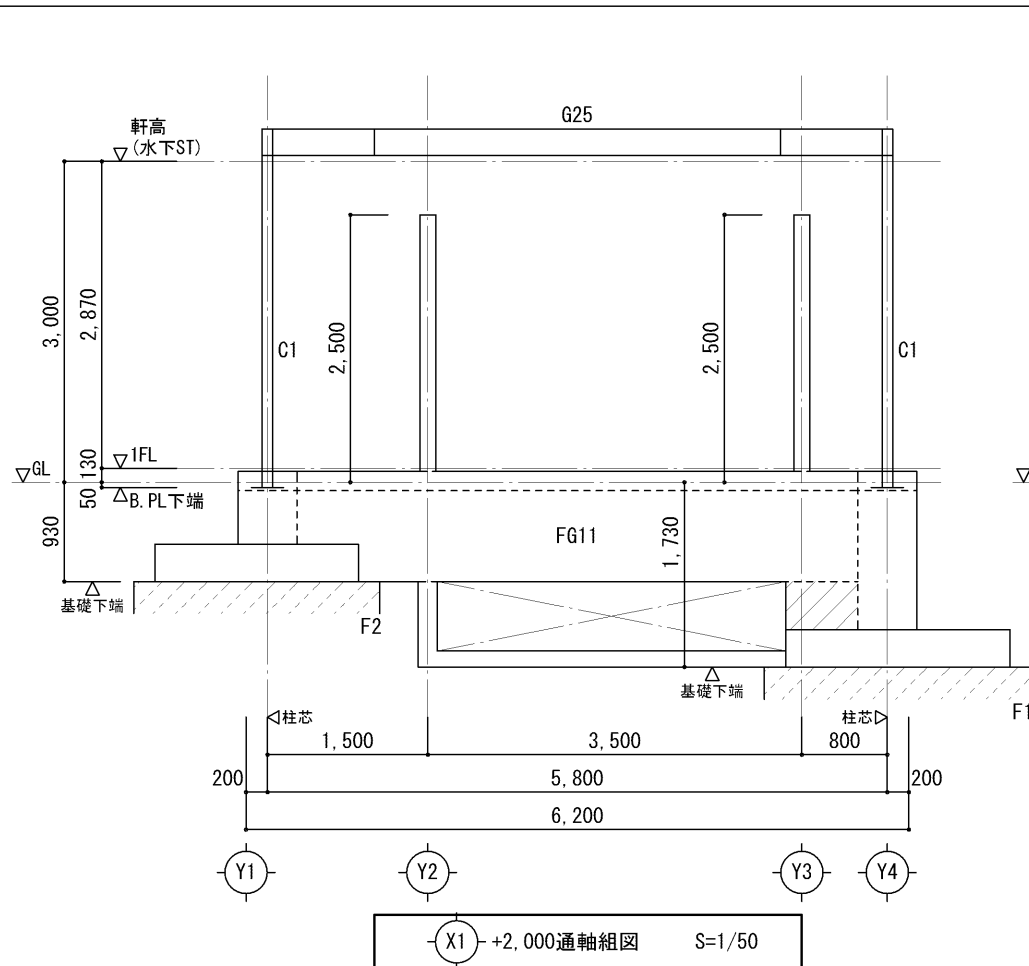
HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES

〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02 TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823

㈱構造プランニング
一級建築士登録 第320271号
清水 猛

一級建築士
NO.233021
鈴木 弘二

DATE 2012.11.22
NAME INUKAI
CHECK SUZUKI-D

PROJECT 七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING 基礎・ピット伏図
SCALE 1/50

折版方向（←）
水勾配 15/100
水勾配 15/100
G25
b15
柱芯
2,000
4,000
16,000
6,200
5,800
200
X1
X2
X3
X4
X5
Y1
Y2
Y3
Y4
N
屋根伏図 S=1/50
特記なき限り下記による。
1．水平ブレース ： HV1 1-M16(T.B付)
2．継手位置は軸組図による。
C1
FG1
FG2
FG11
P10
S1
床下点検口
1,100
3,500
800
650
750
1階梁伏図 S=1/50
特記なき限り下記による。
1．基礎梁天端 ： 1FL-210(GL-80)
2．スラブ天端 ： 1FL-30(GL+100)
3． は土間コンクリートを示す。
4． 内の数値は1FLからスラブ天端レベルを示す。
5．腰 壁 ： W15
6． ： 増打を示す。
HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES
〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02 TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823
㈱構造プランニング
一級建築士登録 第320271号
清水 猛
一級建築士
NO.233021
鈴木 弘二
DATE 2012.11.22
NAME INUKAI
CHECK SUZUKI-D
PROJECT 七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING 1階梁伏図、屋根伏図
SCALE 1/50
PAGE S-07

軸組図共通事項
1. 継手位置は柱芯から 1,000 とする。
2. : 増打を示す。
水勾配 15/100 水勾配 15/100
水上ST
軒高(水下ST)
1FL
GL
B.PL下端
基礎下端
1,200
4,200
2,870
130
50
1,730
G25
C1
FG1
F1
柱芯
2,000
4,000
16,000
X1
X2
X3
X4
X5
Y4 通軸組図 S=1/50
930
FG2
F2
地盤改良(共通)
Y1 +200通軸組図 S=1/50
HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES
〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02 TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823
㈱構造プランニング
一級建築士登録 第320271号
清水 猛
一級建築士
NO.233021
鈴木 弘二
DATE 2012.11.22
NAME INUKAI
CHECK SUZUKI-D
PROJECT 七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING 軸組図（1）
SCALE 1/50
PAGE
S-08

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES
〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02 TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823
㈱構造プランニング
一級建築士登録 第320271号
清水 猛
一級建築士
NO.233021
鈴木 弘二

DATE	2012.11.22
NAME	INUKAI
CHECK	SUZUKI-D

PROJECT	七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING	軸組図（２）
SCALE	1/50

符号	FG1	FG2
位置	全断面	全断面
上端筋	3-D19	3-D19
下端筋	3-D19	3-D19
スターラップ	□-D13-@200	□-D13-@200
腹筋	6-D13	2-D13

符号	FG11	
位置	端部	中央
上端筋	3-D19	3-D19
下端筋	3-D19	6-D19
スターラップ	□-D13-@200	
腹筋	2-D13	

符号	C1
主筋	12-D19
フープ	□-D13-@100

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES

〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02 TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823

㈱構造プランニング
一級建築士登録 第320271号
清水 猛

一級建築士
NO.233021
鈴木 弘二

DATE 2012.11.22
NAME INUKAI
CHECK SUZUKI-D

PROJECT 七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING 基礎・基礎梁・柱型断面表
SCALE 1/30

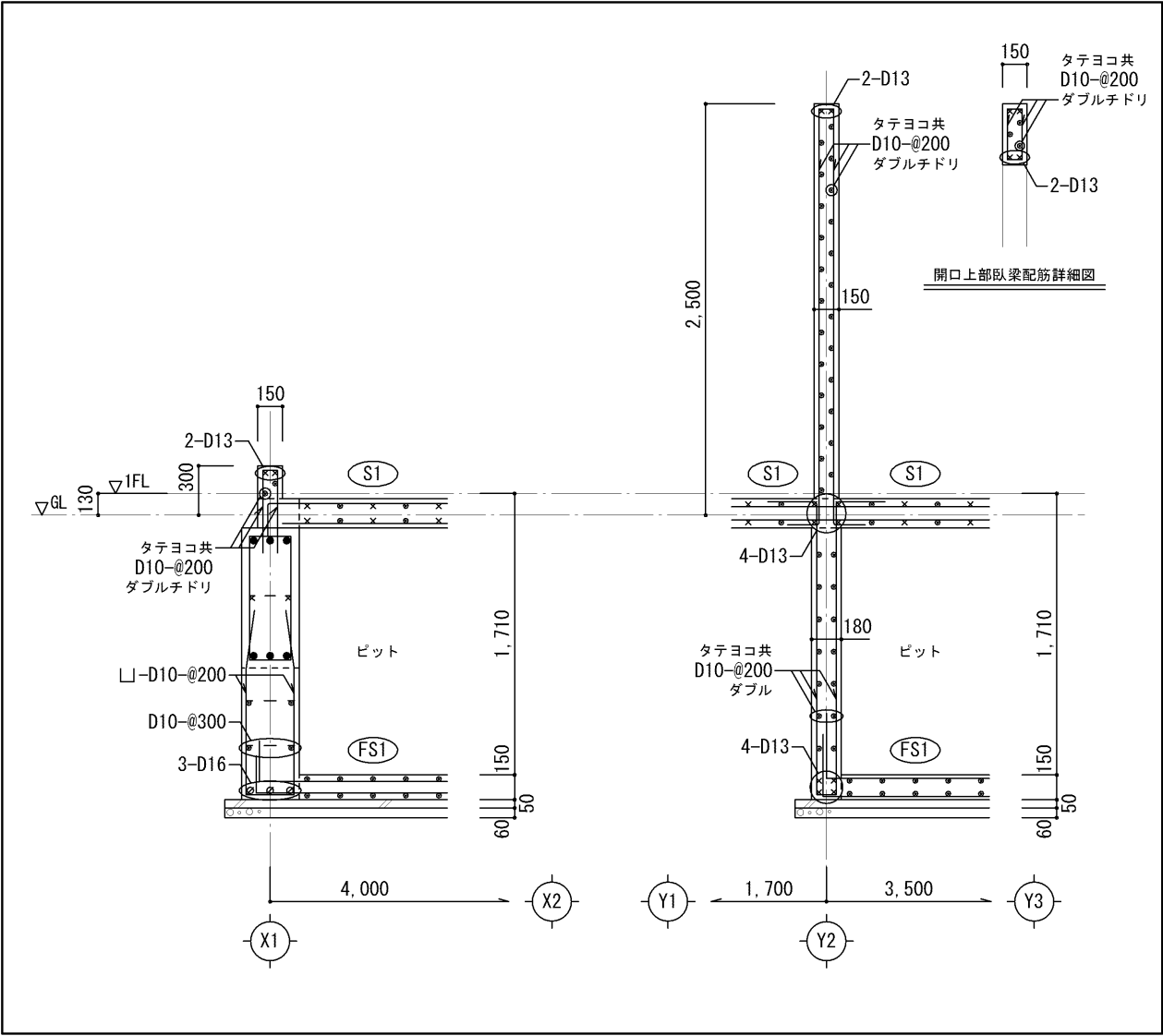
スラブ断面表

符号	版厚	位置	短辺方向（主筋）	長辺方向（配力筋）	備考
			全領域	全領域	
S1	180	上端筋	D10･D13-@200	D10･D13-@200	
		下端筋	D10･D13-@200	D10･D13-@200	
		上端筋			
		下端筋			
FS1	150	上端筋	D10 -@200	D10 -@200	
		下端筋	D10 -@200	D10 -@200	
		上端筋			
		下端筋			
		上端筋			
		下端筋			

ピット・腰壁配筋詳細図 S=1/30

柱断面表 S=1/30

特記なき限り下記による。

1．通しダイヤフラム ： SN490C
2．λ ： 有効細長比を示す。

符号	C1		P0	P10
部材	□-100x100x9(STKR400)	λ= .	[-100x 50x 5 x7.5(SS400)	H-100x100x 6 x 8(SS400)
断面	100 / 100		50 / 100	100 / 100
柱脚断面	300 / 50 200 50 / 300 50 200 50			150 / 75 75 / 200 50 100 50
ベースプレート	B.PL-19x300x300(SN490C)		―――	B.PL-12x200x150(SS400)
アンカーボルト	4-M20(SS400)L=600 D.N締め，フック付		―――	2-M16(SS400) L=480 D.N締め フック付
備考	Rib.PL-9(H=100)		ピン接合 G.PL9,HTB.2-M16	ピン接合 G.PL9,HTB.2-M16

鉄骨部材断面表

特記なき限り下記による。

1．使用材料 ： ボルト F8T

符号	鉄骨	材質	FLG			WEB		備考
			S.PL		HTB.	S.PL, G.PL	HTB.	
G25	H-250x125x 6 x 9	SS400	外	S.PL-12	8-M16	2S.PL- 6	2x2-M16	
			内	―――				
b15	H-150x 75x 5 x 7	SS400	―――		―――	G.PL-6	1x2-M16	
水平ブレース	1-M16(T.B付)	SNR400B	―――		―――	G.PL-9	1-M16	
Hb10	H-100x100x 6 x 8	SS400	―――		―――	G.PL-9	1x2-M16	
b0	[-100x 50x 5 x7.5	SS400	―――		―――	―――	―――	外壁受材 A.BOLT 2-M12(SS400) L=400 @2,000

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES
〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02 TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823

㈱構造プランニング
一級建築士登録 第320271号
清水 猛

一級建築士
NO.233021
鈴木 弘二

DATE	2012.11.22
NAME	INUKAI
CHECK	SUZUKI-D
PROJECT	七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING	スラブ断面表、雑詳細図、柱・鉄骨断面表
SCALE	1/30

H-150x75x5x7
水平ブレース
1-M16(T.B付)
(SNR400B)
G.PL-9
HTB.1-M16
H-250x125x6x9
b15
G25
5,800
200
2,000
4,000
柱芯
JOINT
1,000
10
水勾配 15/100
水勾配 15/100
水上ST
軒高(水下ST)
1FL
GL
B.PL下端
1,200
4,200
2,870
130
50
30
折版受け
C-100x50x20x2.3(SSC400)
PL-19
FLG(外) S.PL-12,HTB.8-M16
WEB 2S.PL- 6,HTB.2x2-M16
□-100x100x9
(STKR400)
C1
300
50 200 50
B.PL-19x300x300(SN490C)
4-M20(SS400)L=600
D.N締め,フック付
Rib.PL-9(H=100)
無収縮モルタル
t=30
水平ブレース位置
180
X1
X2
X3
X4
Y1
Y4
共通事項
1. 使用材料 : SS400
2. 通しダイヤフラム : SN490C
3. ボルトは F8T とする。
Y1 +200通鉄骨詳細図 S=1/50
X3 通鉄骨詳細図 S=1/50
HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES
〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02 TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823
㈱構造プランニング
一級建築士登録 第320271号
清水 猛
一級建築士
NO.233021
鈴木 弘二
DATE 2012.11.22
NAME INUKAI
CHECK SUZUKI-D
PROJECT 七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING 鉄骨詳細図
SCALE 1/30
PAGE
S-13

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　七ヶ浜町民テニスコート等改築工事

2．工事場所　七ヶ浜町吉田浜野山　地内

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
屋外便所	RC・S	平屋				

4．工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	屋外便所							屋外
・空気調和設備								
⊙換気設備	新設一式							
・排煙設備								
・自動制御設備								
⊙衛生器具設備	新設一式							
⊙給水設備	新設一式							新設一式
⊙排水設備	新設一式							新設一式
⊙給湯設備	新設一式							
・消火設備								
・厨房機器設備								
・ガス設備								
・さく井設備								
・浄化槽設備								
・昇降機設備								

5．指定部分　※ なし　・ あり　（工期：平成　年　月　日）（対象部分：　）

6．設備概要　（⊙印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要
空気調和方式等	・空気調和　・全空気方式　・ファンコイルユニット，ダクト併用方式　・パッケージ方式
	・温風暖房　・全空気方式　・ファンコンベクター，ダクト併用方式
	・直接暖房　・温水暖房　・
自動制御方式	・電気式　・電子式　・デジタル式　・空気式　・中央監視制御
給水方式	⊙ 水道直結方式　・高置タンク方式　・タンクレスブースター方式　・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（⊙ 分流式　・合流式） 建物外の汚水及び雑排水（⊙ 分流式　・合流式） 放流先　汚水（⊙ 下水道直放流　・し尿浄化槽） 雑排水（⊙ 下水道直放流　・し尿浄化槽　・側溝　・別途桝）
給湯方式	⊙ 局所式　・中央式
消火設備方式	・屋内消火栓（・湿式　・乾式）　・連結送水管　・屋外消火栓 ・スプリンクラー（・湿式　・乾式）　・不活性ガス消火　・泡消化 ・粉末消火　・連結散水　・フード等用簡易自動消火
ガス設備方式	・都市ガス　種別（　）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　・液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項　（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編，平成２２年版）」（以下「標準仕様書」という。），同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，平成２２年版）」（以下「標準図という。），及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項　（1）項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は，⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。⊙印と⊗印の付いた場合は，共に適用するものとする。

一般共通事項

①適用基準等
- ⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）
- ⊙ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号）
- ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２１年４月１日施行）

②機材等
- ※ 本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。
- ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
- ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。

③機材の品質・性能証明　本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等のの写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。

④保険　本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出のこと。

⑤雇用　本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。

⑥施工計画書および施工図等　工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督職員に提出する。工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。また，県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督職員に提出する。

⑦工事実績情報の登録　請負額が５００万円以上の場合は，工事実績情報に登録する。受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。（請負額が２，５００万円未満の場合は、受注時のみ）

⑧手続　工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。なお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。

⑨事故報告　施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

10．電気保安技術者　※ 適用する　・ 適用しない

⑪技能士の適用　本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する）
⊙ 配管（配管工事）　・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）　⊙ 熱絶縁施工（保温工事）
・ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）

⑫足場等　・ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・ 本工事で設置
枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月改訂）」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。

13．監督員事務所　※ 設けない　・ 設ける（　号・・・建築工事仕様書）

⑭工事用電力，水，その他　本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。

⑮工事用仮設物　構内に作ることが　※ できる　・ できない

⑯残土処理　・ 構外搬出　※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所にたい積

17．発生材の処理
- （1）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・なし　・あり（　）
- （2）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・なし　・あり（　）
- （3）引渡しを要するもの　※ なし　・あり（　）
- （4）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，、場外搬出の上，適切に処分すること。

（ア）特別管理産業廃棄物　※ なし　・ あり（　）

（イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設
- ・コンクリート（　）
- ・コンクリート及び鉄から成る建設資材（　）
- ・木材（　）
- ・アスファルトコンクリート（　）

（ウ）その他発生材の処分を行う施設
- ・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　）
- ・ 木くず等の管理型の産業廃棄物（　）

建設リサイクル法
- ・ 対象工事
  落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。
- ・ 対象外工事

⑱総合調整　※ 本工事において下記の項目の総合調整を行い，報告書を提出する。　・ 別途
総合調整の項目
・ 風量調整　⊙ 水量調整　・ 室内外空気の温湿度測定
・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定　・ 初期運転状態の記録
⊙ 末端水栓の残留塩素濃度の測定　・ し尿浄化槽放流水質の測定
・ 機器の絶縁抵抗の測定　⊙ 水圧調整
測定箇所は，監督職員の指示による。

⑲容量等の表示　（1）機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。（2）電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。

⑳耐震措置　機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。耐震措置の計算及び施工方法は，次に揚げる事項以外すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課２００５年版監修）による。

設置場所	設計用標準震度 特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）
中層階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）
一階及び地下層	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）

注（1）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（2）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
- （1）本工事の施設は（⊙一般の施設　・特定の施設）とする。
- （2）地域係数は1.0とする。
- （3）100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。
- （4）重要機器類（高置タンク、受水タンクは機器表による。）
- （5）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は，十分な強度を有する方法で固定し，水平鉛直方向の地震力に対して，つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

㉑弁等のサイズ　特記されていない弁等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

22．電線類　本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。（ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）

23．溶接部の非破壊検査　対象配管系統　・冷温水　・冷却水　・消火（水用）　・油　・ガス
検査の種類　・浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・放射線浸透検査（ＲＴ）

㉔はつり　既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。

㉕支持金物・固定金具
- （1）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
- （2）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
- （3）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。

㉖埋戻し土・盛土　図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
・ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）　・ 山砂の類

㉗地中埋設標及び埋設表示用テープ　地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
- （1）給水管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ
- （2）ガス管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ
- （3）油管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ
- （4）消火管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ

㉘保温
・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。　主機械室：

⊙ ダクトの保温の外装は下記による。内装は（・ロックウール　・グラスウール）

場所		外装
屋内露出	倉庫・書庫	・アルミガラスクロス　・
	各階機械室	・アルミガラスクロス　・
	主機械室	・アルミガラスクロス　・
	居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板　・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		⊙ アルミガラスクロス
屋外露出、多湿箇所（　）		・ステンレス鋼板

⊙ 配管の保温の外装は下記による。内装は（・ロックウール　・グラスウール　・ポリスチレンフォーム）

場所		外装
屋内露出	倉庫・書庫	・アルミガラスクロス　・
	各階機械室	・アルミガラスクロス　・
	主機械室	・アルミガラスクロス　・
	居室・廊下など	⊙ 合成樹脂製カバー　・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		⊙ 合成樹脂製カバー　・
屋外露出、多湿箇所（　）		・ステンレス鋼板　・着色アスファルトプライマー ・アスファルトプライマー　・

㉙塗装　下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。　※ 屋外露出　※ 居室

㉚防食処理　土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）

㉛山留め　切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。

㉜舗装工事　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書22章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。

㉝他工事との取り合い　図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。

34．予備品等　ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として、２０％納入する（種別ごと最低１個）。

35．施工条件　別添の施工条件明示書による。

空気調和・冷房・暖房設備

1．設計温湿度

	外気 一般系統 温度(DB)	外気 一般系統 湿度(RH)	外気 温度(DB)	外気 湿度(RH)	屋内（調整目標値）一般系統 温度(DB)	屋内 一般系統 湿度(RH)	屋内 温度(DB)	屋内 湿度(RH)
夏期	℃	%	℃	%	２６℃		℃	%
冬季	℃	%	℃	%	２２℃		℃	%

2．ばい煙濃度計　取付箇所は図示による。

3．煙突　※ 別途　・ 本工事（鋼板厚　mm、高さ　m以上）

4．煙道　※ 煙道径300mm以下は鋼板厚3.2mm，300mmを超えるものは4.5mmとする。　・ 図示による。（煙道径が400mmを超えるものには，掃除口に蝶番を取り付ける。）

5．ダクトの区分　低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）

6．長方形ダクトの工法　・ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法（・共板　・スライド）

7．風量測定口　取付け場所は　・図示した位置　・送風機吐出ダクト又は吸込ダクト　・外気取入れダクト　・風量調整ダンパーの上流又は下流　・空調機のサプライチャンバーからの分岐ダクト

8．チャンバ
- （1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
- （2）空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。
- （3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。

9．防煙ダンパ　（1）復帰方式　※ 遠隔式（電気式（定格入力DC24V、0.5A以下）　（2）復帰動作　※ 順送り　・ 同時

10．配管材料
- （1）冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・
- （2）冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・
- （3）蒸気管（給気管）　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
- （還水管）　※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40）　・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
- （4）油管、油用通気管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
- （5）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管
- （6）空調用排水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ ビニル管（ＶＰ）
- （7）冷媒管　※ 断熱材被覆銅管（製造者標準品）　・ 銅管

11．弁類　※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ

12．鋼管用伸縮管継手　※ ベローズ形　・ スリーブ形

13．温度計　※ 共通仕様書，標準図による他，図示した箇所に取り付ける。（配管用はＬ形、ダクト用は円形）
・ 空気調和機，温風暖房機まわりの給気ダクト，還気ダクト及び外気ダクト
・ 冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管
・ パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口

14．瞬間流量計　※ 着脱可能形（※ 全数　・ 図示による）着脱可能形の場合，その指示部（・40A用　個　・100A用　個　・250A用　個）を付属する。
・ 固定形（止水コック付）　・ 測定用タッピング（32mmピトー管流量計用）

15．オイルタンク　（1）オイルタンク本体は図示による。（2）遠隔油用指示計　※ 取付ける　・ 取付けない　（3）計量尺は，青銅製，黄銅製又はアルミ製とし，100ﾘｯﾄﾙ実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。

16．積算油量計　図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。

17．注油口及び指示ﾎﾞｯｸｽ　標準図（機材　６　）による。　・単独形　・共用形（・ローリーアース付）

18．消音内貼り　（1）施工箇所は図示による。（2）内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。（3）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。

19．保温
- （1）建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む），仕様は冷温水管の項による。
- （2）屋外露出配管の保温は，給水設備の項による。
- （3）外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※ 要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・ 不要
- （4）排気ダクトの外壁開放部より１ｍ程度保温する。（チャンバーボックスを含む）
- （5）冷媒管（断熱材被覆銅管）の保温外装　屋内露出部　・保温化粧ケース（樹脂製）　・外装なし　・　屋外　・保温化粧ケース（樹脂製）　・
- （6）高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　mmとする。

20．電気工事の範囲　（1）地震感知器の配管配線　※ 別途　・ 本工事　（2）防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は　※ 別途　・ 本工事

21．塗装　（1）屋内露出裸ダクトの塗装（居室を除く）は　※ 行わない　・ 行う　（2）屋内露出冷却水配管の塗装（居室は除く）は　※ 行わない　・行う

換気設備

①準拠事項　［ 空気調和　・ 冷房　・ 暖房設備 ］の当該事項に準ずる。　⊙ ５・６・７・８・１６・１７・１８

2．開放形湯沸器排気ﾌｰﾄﾞ　※ 別途　・ 本工事

3．厨房用排気ダクト　※ 亜鉛鉄板　・ ステンレス鋼版（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる）

4．厨房用排気ダクト工法　※ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）

5．厨房用排気フード　（1）フード周囲の天幕（フード面から天井面まで）　※ 取り付ける　・ 取り付けない　（2）フードコック　※ 取り付ける　・ 取り付けない　（3）材質（天幕とも）　※ ステンレス鋼板（SUS304）　・ 亜鉛鉄板

6．多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ　次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４５，４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。（　）

7．塗装　屋内露出裸ダクトの塗装（居室は除く）は　※ 行わない　・ 行う

排煙設備

1．ダクト　・ 亜鉛鉄板製　・ 鋼板製（1.6mm以上）

2．排煙口の形式　・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル

3．排煙口解放装置　・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル

4．排煙風量測定方式　建築設協定期検査業務指導書（（財）日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。

自動制御設備

1．中央監視制御　中央監視制御装置の構成機能は別紙による。

2．計装工事の配線　屋外・屋内露出の配線は，図面に特記のない限り金属管配線とする。

衛生器具設備

1．大便器洗浄弁　不凍結節水弁付とする。

②便器洗浄用タンク　※ 手洗なし　・ 手洗付

3．小便器節水装置　※ 節水装置（機能は別図による）　・ 押ボタン式（不凍結節水弁付）

4．小便器洗浄管　※ 埋込　・ 露出

5．付属水栓　吊りこま式（節水こま式）とする。

6．自動水栓　電源供給方式（ ※ ＡＣ１００Ｖ）

7．大便器耐火カバー　設ける（ピット内を除く）

8．注記板　対象器具（　）

給水設備

①量水器　（1）親メーター　※ 措用　・ 買取り　（2）子メーターは　※ 買取り

②量水器桝　（1）親メーター用　※ 水道事業者の指定品　・ 標準図（機材５３）　（2）子メーター用　※ 標準図（機材５３）　・ 水道事業者の指定品

③配管材料
- （1）一般用　・ ステンレス鋼管（拡管）　・ 塩ビライニング鋼管（・ＶＡ　・ＶＢ）　⊙ ポリ粉体ライニング鋼管（・ＰＡ　⊙ＰＢ）　・
- （2）土間配管用（厨房，浴室等のシンダー内含む）　・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）　・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）　⊙ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）　・
- （3）屋外土中用　・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６拡管）　・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）　・ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）　・ ビニル管（ＪＩＳ　Ｋ　6742）（ＶＰ）　・ 〃（ＨＩＶＰ）　⊙ ポリエチレン管　・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管　・

4．不凍水栓柱　化粧ケーシング（・ アルミ合金製　・ 合成樹脂製）

5．壁埋込型散水栓ﾎﾞｯｸｽ　鍵付とする。

⑥弁類　（1）水道直結部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　・ 水道事業所の規定による　Ｋ　（2）その他の部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ

⑦給水栓　（1）屋内（※ 一般水栓　・ 耐寒水栓）　（2）屋外（※ 耐寒水栓　・ 一般水栓）　湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫式とする。

⑧埋設深さ　（1）一般敷地内（0.45 m以上）　（2）敷地内車両道路（0.6 m以上）　（3）公道部分（※ 水道事業者及び道路管理者規定による）

⑨保温　（1）量水器桝内の保温を行う。

10．埋設弁開閉用ハンドル　本工事に　※ 含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・ 含まない

11．水道加入金等　水道加入金　・ 要（・ 本工事　・ 別途）　・ 不要　・ その他（　）

⑫その他　給水管の最小口径は20mmとする。ただし，器具接続部分を除く。

排水設備

①配管材料
- （1）屋内汚水管　・ 排水用塩ビライニング鋼管　・ コーティング鋼管　・ メカニカル形排水鋳鉄管　・ 鉛管　⊙ ビニル管（ＶＰ）
- （2）屋内雑排水管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 排水用塩ビライニング鋼管（厨房用排水管）　・ 排水用タールエポキシ塗装鋼管（厨房用排水管）　⊙ ビニル管（ＶＰ）
- （3）屋外土中汚水，雑排水管　・ コンクリート管（１種Ｂ形）　⊙ ビニル管（ＶＰ）　・ ビニル管（ＶＵ）　・ ビニル管（再生ＶＵ）
- （4）土間配管用　・ 排水用塩ビライニング鋼管　・ コーティング鋼管　⊙ ビニル管（ＶＰ）
- （5）通気管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 排水用塩ビライニング鋼管　・ ビニル管（ＶＰ）

②排水桝　・ 桝リストは図面番号（ M-04 ）
- （1）材料　・ ＲＣ　⊙ 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ
- （2）ふた　・鋳鉄製（・ ＭＨＡ　・ ＭＨＢ　・ Ｔ８Ａ　）　⊙樹脂製　※ 県マーク，流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付
- （3）規格　・ 下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・ 排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ）　⊙ 市町村別基準（⊙ 有　・ 無）

3．グリース阻集器　・ＦＲＰ製（　Ｌ）　・ＳＵＳ製（　Ｌ）　詳細は図示。

4．満水試験継手　図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。

⑤試験　⊙ 衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。　・ 衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。

6．放流負担金等　・ 不要　・ 要（・ 別途工事　・ 本工事）

7．基礎材　※ 再生クラッシャーラン

給湯設備

①配管材料　・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・ 耐熱性ライニング鋼管　・ 銅管　・ 被覆銅管　⊙ 保温付被覆銅管　<膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。>

②弁類　給水設備の当該事項による。

3．湯沸器の排気筒　厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。

4．保温　湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（ｈ・(ｲ)・ＶⅡ）

消火設備

1．配管材料　（1）一般　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ40）
（2）地中埋設部　・ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ）　・ 〃（ＳＧＰ－ＰＳ）　・ 〃（ＳＴＰＧ－370ＶＳ）　・ 〃（ＳＴＰＧ－370ＰＳ）
（3）二酸化炭素用　・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ80）

2．消火栓開閉弁　・ ＪＩＳ10Ｋ　・ ＪＩＳ20Ｋ

3．保温　（1）屋外露出管については給水管に準ずる。（2）充水タンクの保温　・ 施工しない　・ 施工する　（3）消火配管の保温　屋内消火栓　・ 施工しない　・ 施工する　スプリンクラー　・ 施工しない　・ 施工する

4．消火器類　（1）消火器　種別 ・ 数量（　）　（2）消火器収納箱　仕様 ・ 材質 ・ 数量（　）

厨房機器設備

1．厨房機器類　図示による（材質などは共通仕様書による）。ただし，寸法は参考とする。

2．付属制御盤　器具付属の制御盤は，製造者規格品とする。

ガス設備

1．配管材料　（1）一般　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 圧力配管用炭素鋼鋼管　・ 鋼管　・
（2）地中埋設部　※ ポリエチレン被覆鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 塩化ビニル被覆鋼管　・ ガス用ポリエチレン管

2．都市ガス　（1）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事　（2）引込み負担金　・ 不要　・ 要（・ 別途工事　・ 本工事）

3．液化石油ガス　（1）ガスボンベ　※ 借用　・ 買い取り（・10kg　・20kg　・50kg　本）　（2）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事とする。　（3）集合装置　・標準図（施工７１）による（　本組）　（4）転倒防止等　・標準図（施工７２）｛・（ａ）　・（ｂ）｝　・ ﾎﾞﾙﾄ，ﾁｪｰﾝ等はSUS製とする。

4．ガス漏れ警報器　図示の場所に取付ける（・ 分離形　・ 一体形）　・ 別途電気工事　外部出力端子（・ あり　・ なし）

5．埋設深さ　（1）一般敷地内（　m以上）　（2）敷地内車両道路（　m以上）　（3）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）

6．その他　配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　）

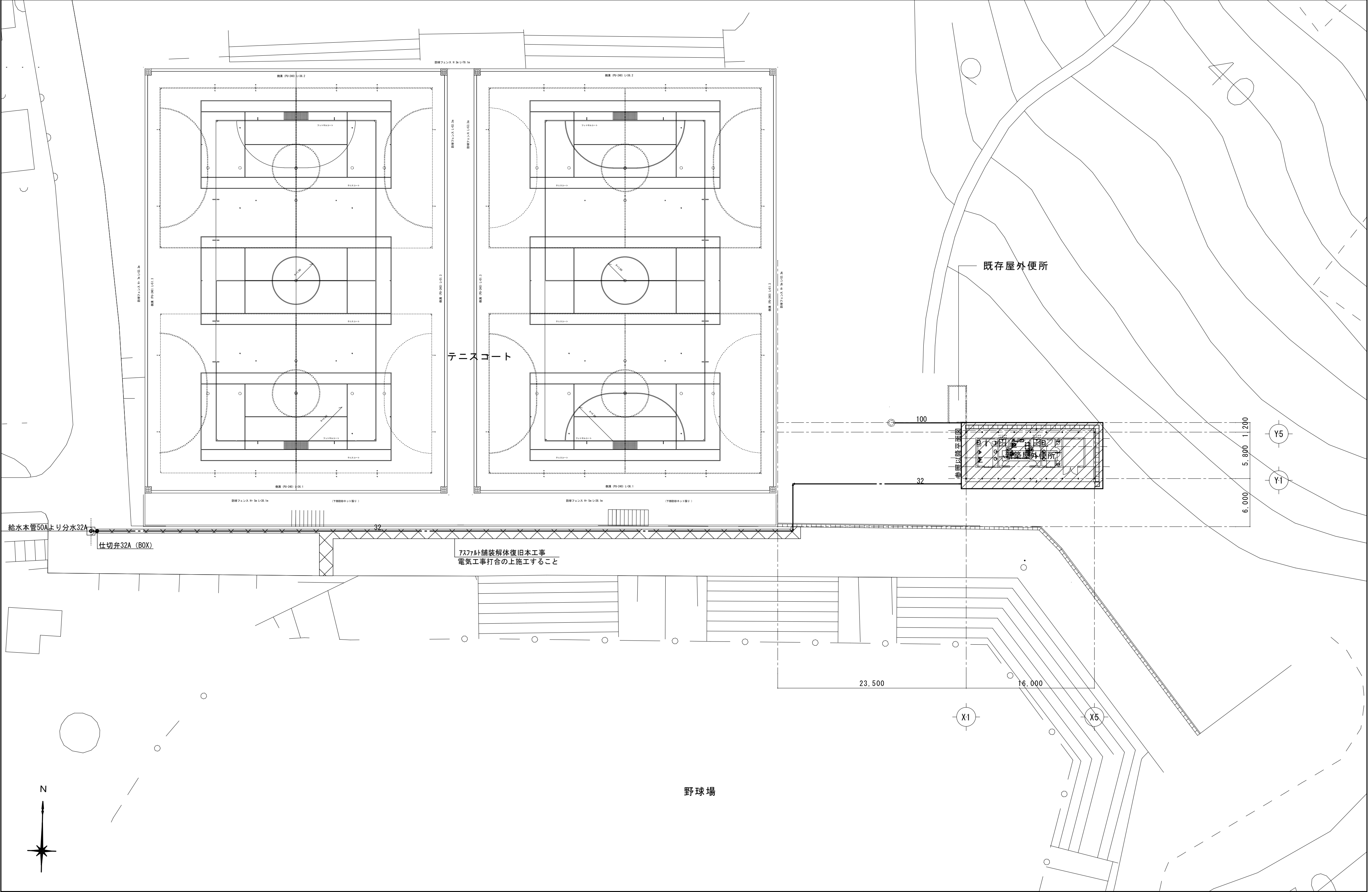
表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1 完成調書	営繕工事完成引渡要領（平成１３年４月１日版）（作成は，主たる請負業者が，他の工事および監督員の協力を得て取りまとめる。）	１部	7 工事写真 ①工事施工写真	Ａ４版 チューブ式ファイル　工事施工写真は，履行写真（着手前写真と完了写真）並びに施工状況写真とで構成される。	１部
2 完成図 ①黒表紙金文字製本	Ａ４版（4 機器完成図，5 取扱説明書とまとめて１冊にしてもよいが，厚さ８０mmを越える場合は分冊とする。）	１部	②完成写真	Ａ４版 ペーパーファイル　完成届に添付	１部
②青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	１部	③マイクロフィルム（完成図のみ）	３５mm　ＭＦフォルダー　設備課保管用	１部
③青焼き二つ折り製本（縮小）	Ａ４版（Ａ３版二つ折り）１部は設備課保管	２部	8 工事週報	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
④原図	三つ折りケース収納	１部	9 工事打ち合わせ議事録	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
⑤完成図書電子データ	JWW又はDXF形式のCADデータもしくはTIFF形式（解像度200DPI程度）	CD １枚	10 工事に関する承諾確認書 ①施工計画書 ②施工要領書 ③確認書・承諾書 ④協議書 ⑤安全に関する書類 ⑥建設廃棄物ﾏﾆﾌｪｽﾄ	Ａ４版 チューブ式ファイル	１式
3 施工図 ①青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り（施工図の枚数が少ない場合は，完成図の二つ折り製本と合本可）	１部			
②原図	三つ折りケース収納	１部			
4 機器完成図	Ａ４版 黒表紙金文字製本（２ 完成図と合本可）	１部	11 各種保証書	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
5 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧	Ａ４版 黒表紙金文字製本（２ 完成図と合本可）	１部	12 その他 ①機器試験成績書 ・機材材質証明書 ・機材検査試験報告書 ・工場検査報告書 ・工場立会検査報告書 ②現場試験成績書 ・工事別試験報告書 ・総合運転および試験報告書		１部
6 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部			

注記：機器及びシステム参考図について
本図面中で，機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で，対象品の寸法形状，諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。
これらのものについては，その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES

〒980-0871　仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02　TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823

一級建築士　NO.233021　鈴木　弘二

換気設備機器リスト

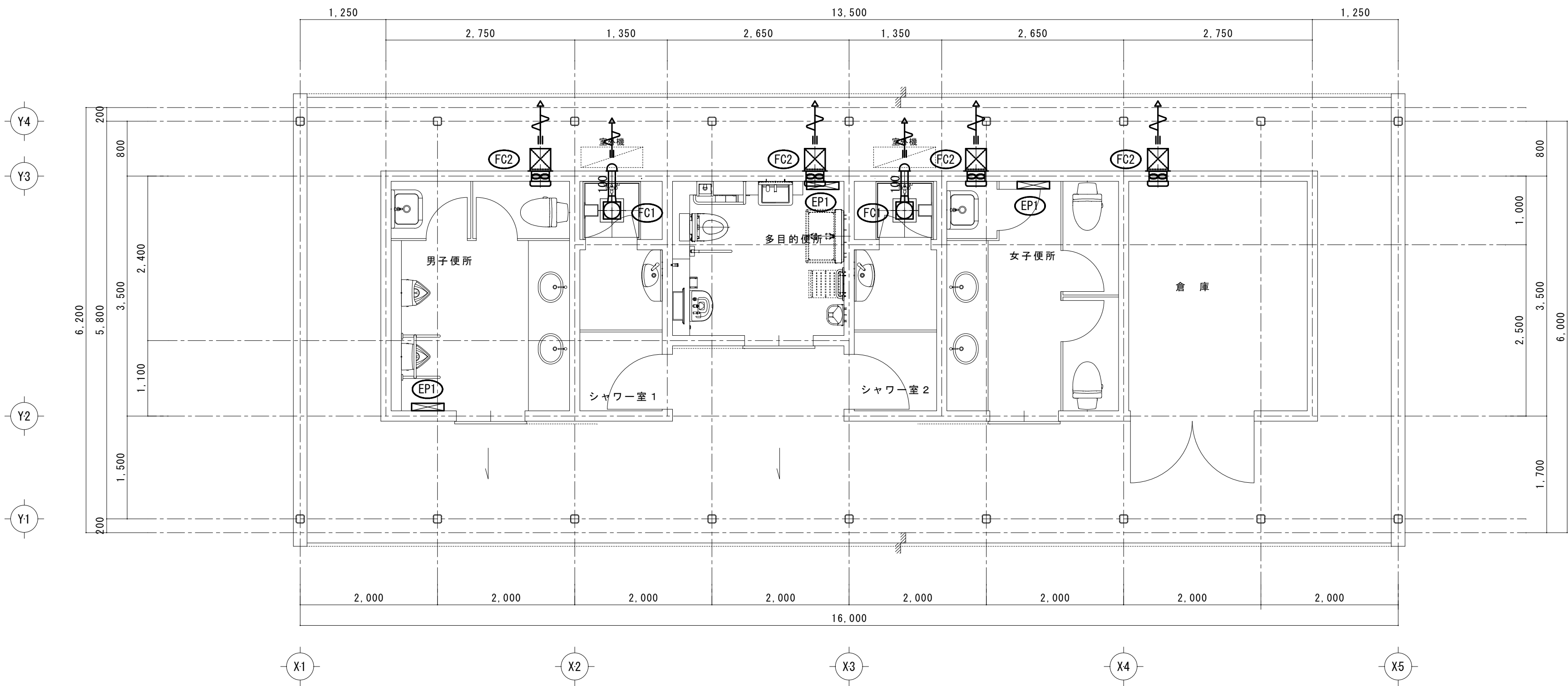
名　称	記　号	仕　様	電気容量			備　考
			Φ	V	W	
天井換気扇	ＦＣ１	低騒音形　１３０Φ×１００ＣＭＨ×２０ｐａ　ＳＵＳ製深形フード（防虫網付）	１	１００	１３・５	
壁換気扇	ＦＣ２	電気シャッター　２００Φ×４００ＣＭＨ　ウエザーカバーＳＵＳ製（防虫網付）	１	１００	１６．０	
電気パネルヒーター	ＥＰ１	ステンレス製　能力1.0Kw　サーモスタットいたずら防止カバー付	１	２００	１，０００	

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES

〒980-0871　仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02　TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823

一級建築士 NO.233021 鈴木　弘二

DATE　2012.11.22
NAME　INUKAI
CHECK　SUZUKI-D

PROJECT　七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING　換気設備設備平面図
SCALE　1/50

衛生器具リスト

名称	記号	仕様付属品	男子便所	男子シャワー室	多目的便所	女子シャワー室	女子便所	屋外	計	備考
洋風大便器	CS567BC	SH596BAY 暖房便座 紙巻器（YH702） 附属品一式	1				2		3	
車椅子対応便器	CS597BC	SH596BAY 温水洗浄便座（TCF5502EAKV6W） 紙巻器（YH702） 附属品一式			1				1	
小便器	UFS800CE	感知FV一体形 附属品一式	2						2	
洗面器	LSW870BS	自動水栓 付属品一式		1		1			2	
洗面器	L260CM	自動水栓 付属品一式			1				1	
コンパクト手洗器	LSW570BSF	自動水栓 付属品一式			1				1	
掃除用流し	SK322	横水栓 排水トラップ 付属品一式	1				1		2	
化粧鏡	YMK51K	附属品一式	2	1	1	1	2		7	
オストメオト	UAS73LBD	電気温水器 側板付 付属品一式			1				1	
石油給湯器	WHK	ノーリツ OQB-407Y コントロールSW 支給品		(1)		(1)			(2)	
地上式オイルタンク	TO	サンダイヤ KS2-200 防油堤付 支給品						(1)	(1)	

汚水桝リスト

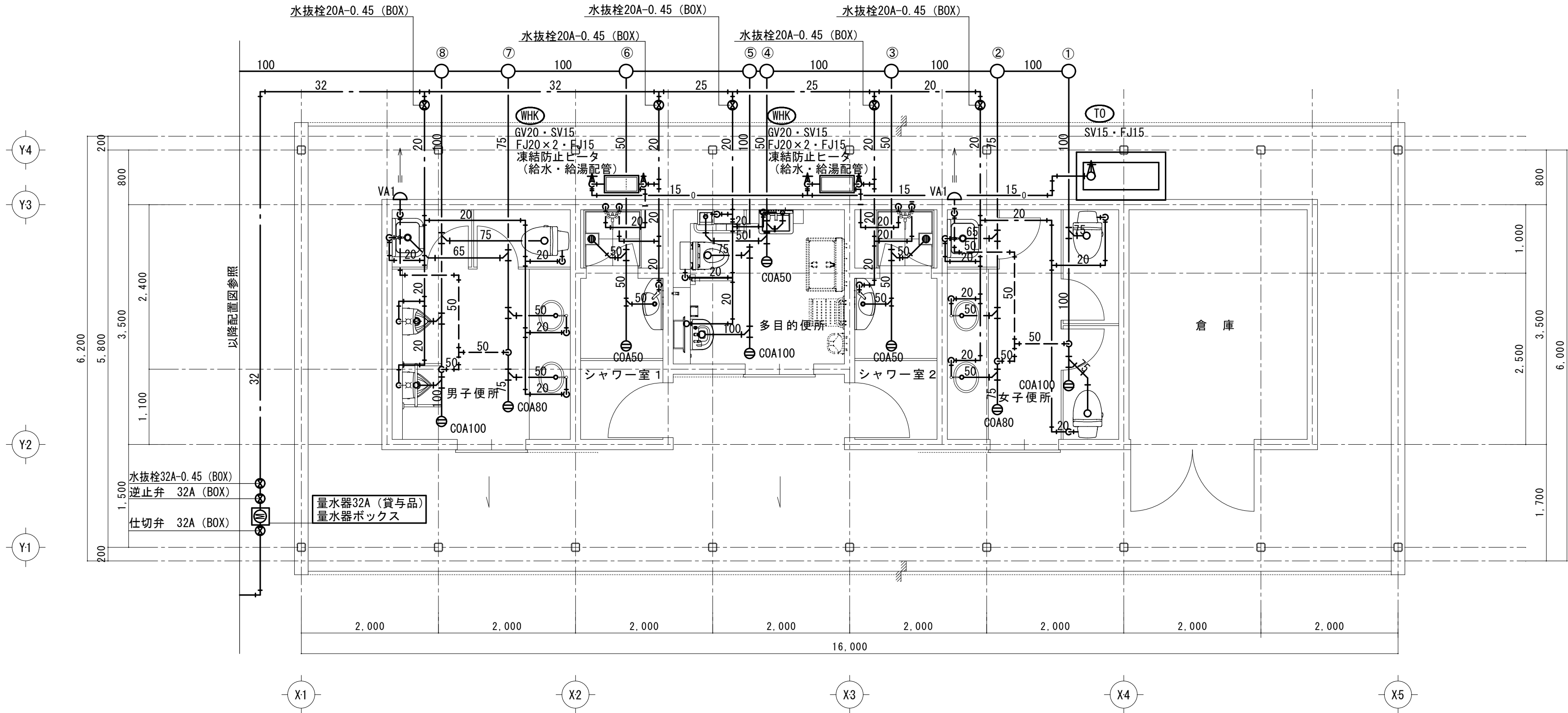
番号	種別	サイズ	桝の深さ（管底）
①	90Lインバート桝	100-150 塩ビ蓋	400H
②	45Yインバート桝	100-150 塩ビ蓋	430H
③	45Yインバート桝	100-150 塩ビ蓋	450H
④	45Yインバート桝	100-150 塩ビ蓋	470H
⑤	45Yインバート桝	100-150 塩ビ蓋	500H
⑥	45Yインバート桝	100-150 塩ビ蓋	520H
⑦	45Yインバート桝	100-150 塩ビ蓋	540H
⑧	45Yインバート桝	100-150 塩ビ蓋	570H

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES
〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02 TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823
一級建築士
NO.233021
鈴木 弘二

DATE 2012.11.22
NAME INUKAI
CHECK SUZUKI-D

PROJECT 七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING 衛生設備平面図
SCALE 1/50

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　七ヶ浜町民テニスコート等改築工事

2．工事場所　七ヶ浜町吉田浜字野山　地内

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
屋外便所	RC+S	平屋				新築1棟

4．工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

工事種目＼建物別及び屋外	屋外便所			屋外	備考
⊙電灯設備	新設一式				
・動力設備					
・電熱設備					
・雷保護(避雷)設備					
⊙受変電設備				改設一式	
・静止形電源設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
⊙誘導支援設備	新設一式				
・テレビ共同受信設備					
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					
・防犯・入退室管理設備					
・自動火災報知設備					
・中央監視制御設備					
・					
⊙構内配電線路				改設一式	~~外灯設備を含む~~
・構内通信線路					
・電波障害調査	別紙仕様書による				

5．指定部分　※ なし　・ あり（対象部分：　工期：平成　年　月　日）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編，平成２２年版），国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，平成２２年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図，建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（1）項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は，⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。⊙印と⊗印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	※ 建設工事執行規則(昭和３９年３月宮城県規則第９号) ※ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ※ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２１年４月１日施行）
	② 機材等	※ 本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施行に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
	⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，請負者が遅滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑨ 工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は，工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には，中止時点における工事の出来高，搬入材料及び建設機械器具等の調書，中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。
	10. 工事実績情報の登録(CORINS)	請負額が500万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を，監督職員に提出のこと。
	⑪ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑫ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	⑬ 工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力，水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	⑭ 工事用仮設物	構内につくることが　※ できる　・ できない
	⑮ 監督職員事務所	※ 設けない　・ 設ける（　号・・・建築工事）
	⑯ 足場，さん橋類	⊙ 別契約の関係請負者が設置したものは，無償で使用できる。　・ 本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	17. 工事表示板	※ 設置する　設置枚数　１枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課･設備室制定)により設置する。 ・ 設置しない
	⑱ 工事用通路	※ 指定しない　・指定する（図示）
	19. 発生材の処理等	発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの（　） ・ 特別管理産業廃棄物（ ・ ＰＣＢ使用機器　・　） 受入施設名・所在地　: ・ 現場において再利用を図るもの（　） ・ 再資源化を図るもの （種類／受入施設名／所在地（km）／備考） ・ その他安定型廃棄物（　） 受入施設名・所在地　: ・ その他管理型廃棄物（　） 受入施設名・所在地　: ＰＣＢを含有する機器等については飛散，流出がないように適切な場所に保管し，工事完了後監督職員に引き渡す。
	⑳ 残土処理	※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所に堆積　・ 構外搬出
	㉑ 耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。本工事の施設分類は（ ・ 特定の施設　⊙ 一般の施設 ）で地域係数は１とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設置場所＼設計用標準震度	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階，屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
・ 配電盤　・ 発電装置　・ ＵＰＳ装置　・ 直流電源装置
・ 交換機　・ 受信機（自立型）　・ 中央監視装置　・ 情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。

項目	特記事項
22. 風圧加重	※ 風速６０ｍ／ｓ　・ ＿＿ｍ／ｓ ・ 雷保護設備受雷部　・ 照明ポール・基礎　・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト
㉓ 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。
㉔ 保温，結露防止	外部に面する壁，天井でＦＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。
㉕ 電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。（ＥＭ－ＭＥＥＳ）
㉖ 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管(一重管)とし，温度による分類はタイプ－25とする。
27. 二種金属製可とう管	露出箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし いんぺい箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし
㉘ 電線本数，管路など	分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督職員の承諾を受け変更してもさしつかえない。
29. インサート	鋼鉄製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
㉚ 呼び線	長さ１ｍ以上の通線しない電線管には，１．２㎜以上のビニル被覆鉄線を通線する。
㉛ フラッシュプレート	図面に特記なき場合，（ ※ 金属製（ステンレス・新金属も含む）　・ 樹脂製 ）とする。
32. フロアプレート･ベース	※ 水平高低調節付（空転防止リング付）　・ 銅合金製　・ アルミ合金製
33. ハンドホール蓋	県章およびチェーン付のものとする。
㉞ 支持金物，固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。
㉟ あと施工アンカー	施工方法　⊙ 接着系（ ※ 有機系　・ 接着剤 ） ⊙ 金属拡張系（ ※ 本体打込式　・　） 性能・施工確認　※ 行わない　・ 行う
㊱ 接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００㎜とする。ただし，Ｄ＝１０は１，０００㎜，Ｗ＝３０は１，２００㎜とする。 装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

	接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・	雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＰ×２
・	雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×　連－　組
・	共同接地	EA・ED・ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	共同接地	EA・EC・ED	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	Ａ種	EA	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	Ｂ種	EB	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×２
・	Ｃ種	EC	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
⊙	Ｄ種	ED	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１
・				
・	構内交換機（陽極）用	Et	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－　組
・	本配線盤の保安装置	EAt	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	電話引込口の保安器	EDt	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１
・	拡声増幅器	EDa	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１
・	防犯装置用	ES	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－　組
・				
・	測定用	Eo	――	ＥＢ(Ｄ＝10又はW＝30)×１
・	避雷器用（低圧用）	ELL	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	避雷器用（高圧用）	ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連－２組
・	避雷器用（モデム用）	EMD	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１
・	構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

項目	特記事項
㊲ 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い，報告書を提出すること。 ・ 受変電設備　・ 発電設備　⊙ 照明装置　・ 構内交換設備　・
㊳ 塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外　※ 居室　・

電灯設備

項目	特記事項
① 工事範囲	⊙ 配管　⊙ 配線　⊙ 分電盤類
② 電気方式	⊙ 幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ⊙ 分岐　単相３線式　２００Ｖ ⊙ 分岐　単相２線式　１００Ｖ 幹線　・ 金属管配線　⊙ ケーブル配線
③ 施工方法	分岐　電灯　⊙ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　⊙ ケーブル配線 コンセント　⊙ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ フロアダクト配線 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　⊙ 合成樹脂製　・ 金属製
④ 蛍光灯	図面に特記がない場合のＨｆ型蛍光灯の入力電圧・周波数は，入力電圧100/200V，周波数50Hzとする。
5. 非常用照明器具	※ 電池内蔵形　・ 電源別置形 ※ 飛び出し形　・ 外部固定形
⑥ 照度測定	照度測定は，原則，本工事範囲全て行うものとするが，これにより難い場合は監督職員との協議による。
7. ハイテンションアウトレット	※ 銅合金製　・ アルミ製
⑧ 人感センサープレート	照明の人感センサー制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。
9. 予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。

動力設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 制御盤類
2. 電気方式	・ 幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ・ 分岐　三相３線式　２００Ｖ
3. 施工方法	幹線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 分岐　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製
4. 警報盤	※ 壁掛形（電源装置　※ 内蔵　・ 別置 ）・
5. 電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※ 埋込連用形配線器具　・
6. 機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
7. 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
8. 進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
9. 電気自動車用急速充電装置	・ 機器類　・ ・ 定格容量　ｋＶＡ

電熱設備

項目	特記事項
1. 電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Hz 分岐　相　線式　Ｖ
2. 施工場所及び面積	・（　㎡）　・（　㎡）

雷保護設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・ 受雷部　・ 引下げ導線　・ 接地極埋設
2. 受雷部	・ 突針　・ 棟上導体　・ 笠木（別途）など
3. 避雷導線	・ 引下げ導線　※ 建築構造体利用
4. 接地極	※ 接地極埋設　・ 建築構造体利用
5. 測定用補助接地極	・ 設置

受変電設備

項目	特記事項
① 工事範囲	・ 機器類　⊙ MCCB増設
2. 電気方式	・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ　・ 低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
3. 引込ケーブル	・ ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・ ＥＭ－ＣＥＴ６０° ・ ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・ ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・
4. 配電盤	・ 屋内形　・ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・ キュービクル式配電盤　・ 高圧閉鎖配電盤　・　・
5. 主遮断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・ 高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
6. 高圧機器類	・ 油入式　・ 乾式
7. 変圧器	・ 単相変圧器　ｋＶＡ　・ 三相変圧器　ｋＶＡ （油入式：JIS C4304-2005適合品 乾式：JIS C4306-2005適合品）
8. 進相用コンデンサ	※ 低圧　・ 高圧　・ ６％　・ １３％
9. リアクトル	・ ６％　・ １３％
10. 自動力率制御装置	※ 無効電力検出方式　・ 力率検出方式
11. 測定用補助接地極	・ 設置

電力貯蔵設備

項目	特記事項
1. 直流電源装置	※ 非常用照明器具電源，受変電設備制御電源供用　・ 受変電設備専用　・ 非常用照明器具専用 蓄電池　・ 鉛蓄電池（ ・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・　） ・ アルカリ蓄電池（ ・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）
2. 交流無停電電源装置	用途（　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・ 鉛蓄電池（ ・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・　） ・ アルカリ蓄電池（ ・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）

発電設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・ 機器類　・
2. 形式	・ 簡易形　・ キュービクル式　・ オープン形　・ ・ 屋内形　・ 屋外形
3. 発電機	電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ
4. 原動機	種類　・ ディーゼル　・ ガスタービン　・ 定格出力　ｋW以上（　ＰＳ以上） 始動方式　※ 電気式　・ 空気式 冷却方式　・ ラジエータ式　・ 水冷循環式
5. 燃料	種類　・ 軽油　・ 灯油　・ Ａ重油 燃料小出槽　Ｌ 主貯油槽　・ なし　・ あり（ ・ 別途　・ 本工事：　）
6. 太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋW パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　ｋW

構内交換設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・ 交換機　・ 電話機　・ 配線（ ・ 全部　・ 端子盤以降 ）
2. 電話交換機	形式　・ ボタン電話装置　・ ＰＢＸ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
3. 電話機への配線	電話機１台につき，下記のものを見込む。 ・ ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ（ ・ ２０ｍ　・　） ・ ＥＭ－ＥＢＴ０．４－２Ｐ（ ・ ２０ｍ　・　） ・ ワイヤープロテクタ（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
4. ローテンションアウトレット（亀甲形）	※ 一般電話用　個（ ・ 納入する　・ 取り付ける ） ※ 銅合金製　・ アルミ製
5. 保安器用接地	※ 本工事　・ 別途工事

通信・情報設備

① 工事範囲及び施工方法

項目	工事範囲 配管	配線	機器類	施工方法 合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線
・ 構内情報通信網	・	・	・	・	・	・
・ 情報表示	・	・	・	・	・	・
・ 映像・音響	・	・	・	・	・	・
・ 拡声	・	・	・	・	・	・
⊙ 誘導支援	⊙	⊙	⊙	⊙	・	⊙
・ テレビ共同受信	・	・	・	・	・	・
・ 監視カメラ	・	・	・	・	・	・
・ 駐車場管制設備	・	・	・	・	・	・
・ 防犯・入退室管理	・	・	・	・	・	・

ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製　・

項目	特記事項
2. 構内情報通信網設備	種類　・ １０ＢＡＳＥ－Ｔ　・ １００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・ １０００ＢＡＳＥ－Ｔ　・ ＡＴＭ　・　・
3. 情報表示設備	・ 情報表示盤（ ・ 発光ダイオード式　・ プラズマ式　・ 液晶式 ） ・ 親時計　回線（ ※ 壁掛形　・ 自立形 ） （ ・ 電子チャイム組込　・ プログラムタイマー組込 ）
4. 映像・音響設備	・ 増幅器　Ｗ ・ ＶＴＲ（ ・ ＤＶＤ　・ ＤＶ　・ Ｓ－ＶＨＳ　・　） ・ プロジェクタ（ ※ 前面投射式　・ 背面投射式 ） ・ 音響設備（ ・ ＣＤ　・ ＭＤ　・ カセット　・　）
5. 拡声設備	・ 一般放送用　・ 非常放送兼用 ・ 増幅器　Ｗ（ ※ 卓上形　・ キャビネットラック形）
⑥ 誘導支援設備	・ 身体障害者用インターホン　⊙ トイレ呼出装置　・ 音声誘導装置
7. テレビ共同受信設備	・ テレビアンテナ（ ・ ＡＵ－　・ ＣＳＢＡ－　・ ＣＳＡ－ ） ・ 地上波アンテナマスト（ ※ 壁面取付形　・ 自立形 ） ・ ＢＳ用アンテナマスト（ ・ 壁面取付形　・ 自立形 ）
8. 監視カメラ設備	・ 白黒方式　・ カラー方式
9. 駐車場管制設備	・ 管制盤　・ 検知器（ ・ 光線式　・ ループコイル式） ・ 信号灯・警報灯　・ 発券機　・ カーゲート　・ カードリーダー
10. 防犯・入退室管理設備	・ 接地工事（ ※ 本工事　・ 別途 ）

火災報知設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 機器類
2. 火災報知装置	・ 壁掛形　・ 自立形 ・ 受信機　型　級　回線（　アドレス） ・ 複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線） ・ 副受信機　型　級　回線 ・ 機器収容箱　・ 専用形（ ・ 埋込形　・ 露出形 ）・ 屋内消火栓箱に組込み ・ 感知器類　型用　総数　個（ ・ 自動試験機能付 ）
3. 非常警報装置	・ 非常ベル（自動式サイレンを含む）　・ 非常放送装置
4. 自動閉鎖装置	・ 連動制御盤　回線（遠方復帰機構　回路） ・ 単独（・ 壁掛形　・ 自立形）　・ 火災受信機などとの複合盤 ・ 自動閉鎖機構　・ 防火戸用（本工事，電磁式又はラッチ式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・ 防煙ダンパ用（別途，瞬時通電式又は電動式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下，遠方復帰機構(電動式)，ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下） ・ 防火シャッター用（別途，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・ 自動開放機構　・ 排煙ダンパ（別途，排煙機運転用連動機構付）
5. ガス漏れ警報装置	・ 受信機　回線（ ・ 都市ガス用　・ 液化石油ガス用） ・ 単独（ ・ 壁掛形　・ 自立形 ）　・ 火災受信機などとの複合盤 ・ 感知器 ・ 併設　・ 連動 ・ 定格電圧（ ・ ＡＣ１００Ｖ　・ ＤＣ２４Ｖ ） ・ ガス検知出力信号（ ・ 有電圧出力方式　・ 無電圧接点方式 ）

中央監視制御設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 機器類
2. 監視制御対象設備	・ 動力設備　・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 火災報知設備
3. 表示操作盤	・ 壁掛形　・ 自立形 組込み機器　・　・　・　・
4. 監視制御装置	構成機器　・ グラフィックパネル　・ ミニグラフィックパネル ・ プラズマディスプレイ　・内照式液晶ディスプレイ　・ 操作卓 ・ ＣＲＴディスプレイ（・ キャラクタ　形　・ グラフィック　形） ・ 中央処理装置　・ 伝送端末局（子局） ・ 作表用印字装置　・ 雑印字装置　形 ・ ロギングタイプライタ

構内配電線路

項目	特記事項
① 工事範囲	⊙ 管路　⊙ 配線　・ 機器類
② 電気方式	・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Hz ・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ ⊙ 低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ・ 低圧　単相２線式　１００Ｖ
③ 布設方法	※ 地中埋設式（ ⊙ ＦＥＰ　・ ＰＥ　・ 厚鋼電線管 ）　・ 架空線式
4. 柱上機器	・ 高圧負荷開閉器　※ 一般用　・ 耐重塩じん用 ※ 地絡継電器付き（※ 方向性　・ 無方向性） ・ 避雷器　※ 一般用　・ 耐塩用 ・ 高圧カットアウト，がいしなど　※ 一般用　・ 耐塩用
5. 高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※ 一般用　・ 耐塩用 ※ 処理者銘板取付（屋内外共，線名，作業日，氏名を表示）
6. その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
7. 外灯設備	・ 定格電圧　Ｖ　Ｗ
8. 沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　）
⑨ 標識シート	・ 高圧ケーブル　⊙ 電力幹線ケーブル
10. 予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。

構内通信線路

項目	特記事項
1. 工事範囲	・ 管路　・ 配線
2. 用途	・ 電話用　・ 時計，拡声用　・ 火災報知用
3. 施工方法	※ 地中埋設式（ ・ ＦＥＰ　・ ＰＥ　・ 厚鋼電線管）　・ 架空線式
4. 標識シート	・ 弱電用

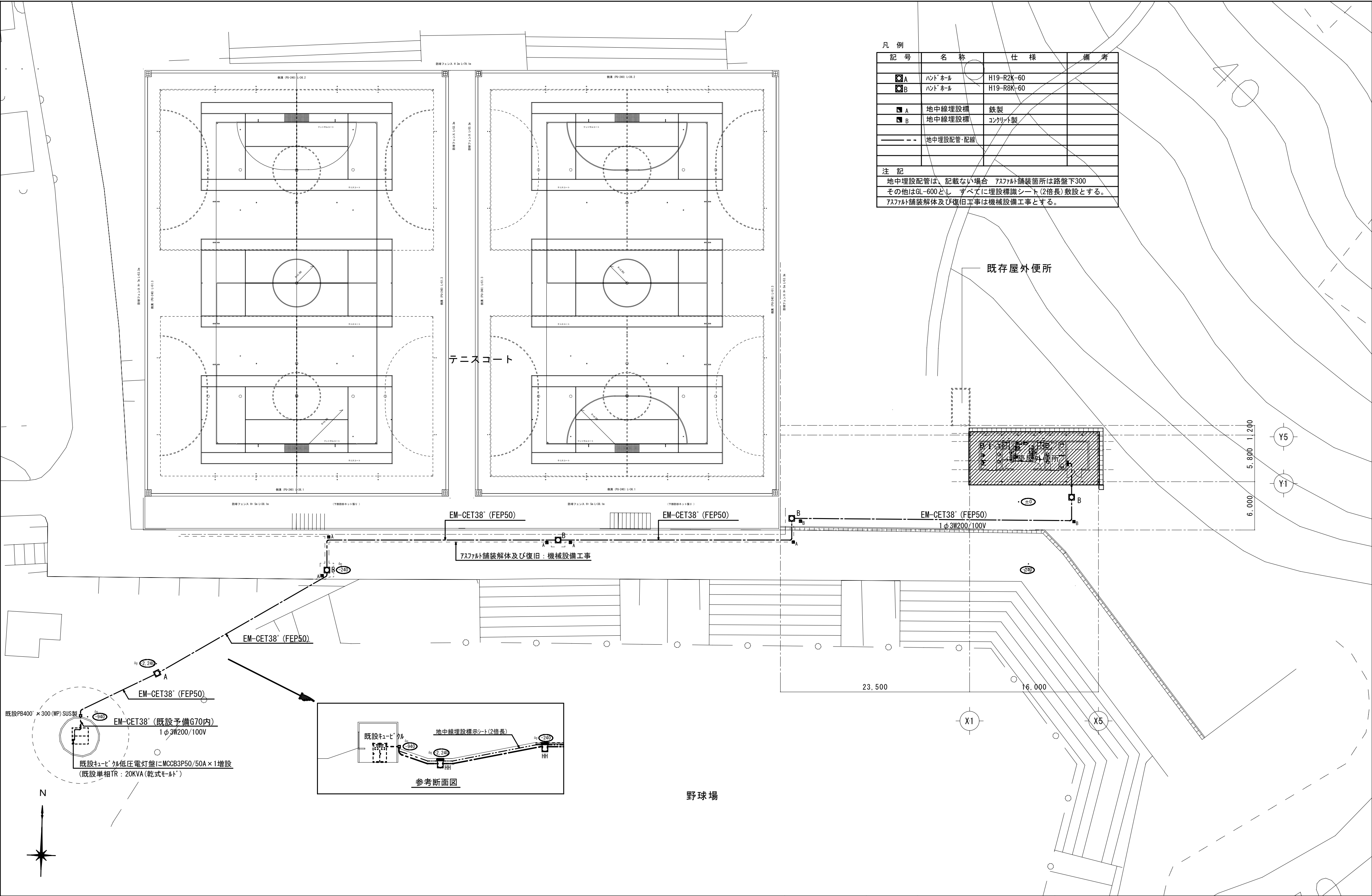
表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備	名称	測点	取付高（㎜）	通信設備	名称	測点	取付高（㎜）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	約　1,800	電話	引込線留め高	地上～引込点	
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200		集合保安器箱	天井下～上端	200
	分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)		端子盤(廊下、室内)	床上～下端	300
					〃（ＥＰＳなど）	床上～中心	1,500
					壁付アウトレット(一般)	床上～中心	300
					〃（和室）		150～200
電灯	スイッチ（一般）	床上～中心	1,300	時計・拡声・通信設備	壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
	〃（和室）	〃	1,200		子時計	〃	2,300
	コンセント(一般)	〃	300		壁掛形スピーカ	〃	2,300
	〃（和室）	〃	150～ 200		壁付アッテネータ	〃	1,300
	〃（台上）	台上～中心	100		壁付インターホン(一般)	床上～中心	1,300
	〃（ファン用）	床上～下端	ファン下端		〃（身体障害者）	〃	1,300
	〃（厨房）	床上～中心	800～1,000		壁付アウトレット(一般)	〃	300
	〃（車庫）	〃	1,300		〃（和室）	〃	150～200
	〃（機械室）	〃	500～1,000		機器収容箱	天井下～上端	200
	〃（土間）	〃	800～1,300		直列ユニット(一般)	床上～中心	300
	ブラケット(一般)	床上～中心	2,100～2,300		〃（和室）	〃	200
	〃（踊場）	〃	2,000～2,500	警報・表示等	表示盤	床上～中心	2,300
	〃（鏡上）	鏡上端～中心	150		壁付発信機	〃	1,300
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上		ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下		壁付押しボタン(一般)	床上～中心	1,300
					〃（身体障害者玄関）	〃	900
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端2,000以下)	火災報知器	受信機	床上～中心	800～1,500
	開閉器箱	〃	1,500		副受信機	〃	800～1,500
	電磁開閉器用ボタン	〃	1,300		機器収容箱	〃	800～1,500
身障者用	非常ボタン(便所用)	床上～中心	900		発信機	〃	800～1,500
	壁付インターホン(親機)	〃	1,300		表示灯	床上～中心	2,100
	〃（玄関子機）	〃	1,100		ベル	〃	2,300
	廊下表示灯(復旧ボタン付)	〃	1,300		液化石油ガス用検知器	床上～上端	250
	身障表示ランプ	〃	1,500		都市ガス用検知器（軽質）	天井～上端	150
	スイッチ	〃	1,100		〃（重質）	床上～上端	250

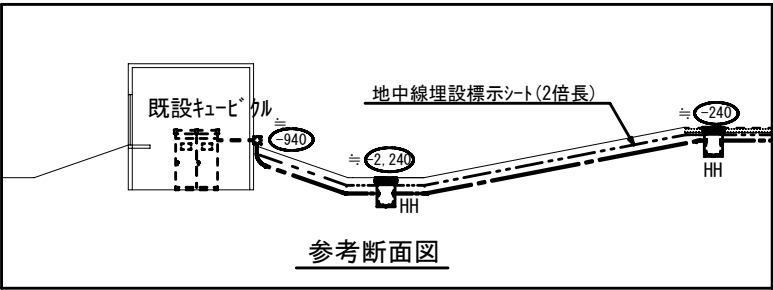
表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1　完成調書	営繕工事完成引渡要領（平成１３年４月１日版）	１部	9　取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：黒表紙金文字製本（２　完成図書と合本可）	１部
2　完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本（機器完成図，取扱説明書と合本可。ただし，厚さが８０㎜を越える場合は分冊とする。）	１部	１０　管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部
3　完成原図	三つ折りケース収納	１組			
4　完成図	青焼製本　Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	１部			
5　完成図(縮小)	青焼縮小製本　Ａ３版二つ折り　うち１部は設備課保管	２部	１１　工事写真		
6　完成図(電子データ)	JWW又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式	ＣＤ１枚	①施工写真 ②完成写真	Ａ４版：チューブ式ファイル（着手前，施工状況，完成の各写真） Ａ４版：ペーパーファイル　完成届に添付	１部 １部 １部
7　施工図	青焼製本　Ａ１版またはＡ２版の二つ折り（施工図の枚数が少ない場合は，４　完成図と合本可）	１部	１２　工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部
8　機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査報告書 ④工場試験報告書 ⑤工場立会検査報告書 ⑥現場据付試験報告書 ⑦総合試運転報告書	Ａ４版：黒表紙金文字製本（２　完成図書と合本可）	１部			

注記：機器参考図について
本図面中で，機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。
これらのものについては，その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES
〒980-0871　仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02　TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823
一級建築士 NO.233021 鈴木　弘二

記　号	名　称	仕　様	備　考
A	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	H19-R2K-60	
B	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	H19-R8K-60	
A	地中線埋設標	鉄製	
B	地中線埋設標	ｺﾝｸﾘｰﾄ製	
——— - -	地中埋設配管・配線		

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES
〒980-0871　仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02　TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823
一級建築士
NO.233021
鈴木　弘二

DATE	2012.11.22	PROJECT	七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
NAME	INUKAI	DRAWING	配置図
CHECK	SUZUKI-D	SCALE	1/300

凡例		
図記号	名称	適用
	電灯分電盤	鋼板製（結線図参照）
	照明器具	参考姿図参照
○	照明器具	〃
○	照明器具	〃 壁付
●	ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ	1P15A×1（連用大角形）
●L	ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ	1P15A×1（連用大角形） ＋1P4A×1（連用大角形） 確認表示灯付
● AS (100V・3A)	自動点滅器	100V・3A 電子式
● RASCL (3A)	熱線式自動ｽｲｯﾁ	1P3A(蛍白・換気扇用) 感知後動作時間約10秒～30分可変
▽NK	熱線式自動ｽｲｯﾁ子機	換気扇用(換気扇連動端子付)
● RASCL (1.2A)	熱線式自動ｽｲｯﾁ	1P1.2A(蛍白・換気扇用)換気扇遅れOFF機能付 感知後動作時間約10秒～30分可変
⏀	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×1
⏀2	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×2
⏀E・ET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×1 接地極・接地端子付
⏀2E・ET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×2 接地極・接地端子付
⏀3ET (WP)	防水ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×3 接地端子付 屋根式
	換気扇	天井埋込・壁付け(本体:建築機械設備工事)
	ケーブルころがし配線	
	いんぺい配管配線	
	床 いんぺい配管配線	

配線凡例

EM-IE1.6×3(PF16)	
EM-IE1.6×2,E1.6(PF16)	
EM-IE1.6×2,E1.6(PF16)	
EM-IE2.0×2(PF16)	
EM-IE2.0×2,E2.0(PF16)	
EM-IE2.0×4,E2.0(PF22)	
EM-EEF1.6-2C	：壁立下げ部(PF16)保護
EM-EEF1.6-3C	：壁立下げ部(PF16)保護
EM-EEF1.6-2C×2	：壁立下げ部(PF22)保護
EM-EEF2.0-2C	：壁立下げ部(PF22)保護
EM-EEF1.6-3C：1芯接地線	：壁立下げ部(PF16)保護
EM-EEF2.0-3C：1芯接地線	：壁立下げ部(PF22)保護

照明器具参考姿図

A321	FSS9-321-PN95	B800	LRS1-800LM	C15W	EFD15W×1 防雨型ﾌﾞﾗｹｯﾄ
					低誘虫UVカット仕様 カバー：アクリル（乳白）

男子便所 B800 5 / シャワー室1 B800 2 / 多目的便所 B800 4 / シャワー室2 B800 2 / 女子便所 B800 6 / 倉庫 A321 2 / 外壁 C15W 8

室外機 3ET(WP) AS(100V・3A) E・ET RASCL (3A) RASCL (1.2A) NK L-1 (PF22)×2

男子便所 シャワー室1 多目的便所 シャワー室2 女子便所 倉庫

1,250 13,500 1,250 2,750 1,350 2,650 1,350 2,650 2,750

2,000 2,000 2,000 2,000 2,000 2,000 2,000 2,000 16,000

X1 X2 X3 X4 X5 Y1 Y2 Y3 Y4

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES 〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02 TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823	一級建築士 NO.233021 鈴木 弘二	DATE 2012.11.22 NAME INUKAI CHECK SUZUKI-D	PROJECT 七ヶ浜町民テニスコート等改築工事 DRAWING 電灯ｺﾝｾﾝﾄ設備平面図 SCALE 1/50	PAGE E-03

分電盤（Ｌ－１）

※壁掛ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ形式　鋼板製屋内型

負荷容量	幹線ｻｲｽﾞ	主開閉器(種別)
8.8(KVA)	EM-CET38°	ELCB 3P 50AF/50AT

備考	容量(VA)	負荷名称	回路番号
	3,000	凍結防止用ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	1
52-1 (T2＋EE)	240	外壁灯	1
	492	多目的便所他電灯	3
	1,000	ｼｬﾜｰ室(2)ｺﾝｾﾝﾄ	5
	1,000	ｼｬﾜｰ室(1)ｺﾝｾﾝﾄ	7
		予備	9

回路番号	負荷名称	容量(VA)	備考
2	倉庫他電灯	656	
4	女子便所ｺﾝｾﾝﾄ	500	
6	多目的便所ｺﾝｾﾝﾄ	1,300	
8	男子便所ｺﾝｾﾝﾄ	600	
6	制御回路		

誘導支援機器参考姿図

トイレ用押ボタン（ひも付）

形　状	埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材　質	樹脂
備　考	呼出確認表示灯付、ひも付
	下記の内容の注記銘板の取付（アクリル板ビス止め）
	「気分の悪い方は下のボタンを押すか、ひもを引いて下さい。」

埋込押釦　常閉形（ｂ接点）

形　状	埋込形
材　質	樹脂
備　考	下記の内容の注記銘板の取付（アクリル板ビス止め）
	「警報停止　トイレ内を確認してから下のボタン押して下さい。」

警報ランプ付ブザー（屋外用）

松下電工　EA5524　同等品

定格電圧	ＡＣ１２Ｖ ６ＶＡ　ＤＣ１２Ｖ ３ＶＡ(２５０ｍＡ)
材　質	防雨形(屋側用)
音　圧	警報音 ９０ｄＢ以上（前方１ｍにて）
光　源	高輝度ＬＥＤ
動作時間	ランプ：復旧迄、ブザー：１～３分（タイマー機能内蔵）

1,250　13,500　1,250
2,750　1,350　2,650　1,350　2,650　2,750

男子便所　シャワー室１　多目的便所　シャワー室２　女子便所　倉　庫

室外機
防雨入線プレート
（本体：機械設備工事）
凍結防止用ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ
1φ200V1.0KW
給湯器リモコンスイッチ用
（本体及び配線/機械設備工事）
(PF16)　(PF22)
FL+1,000　FL+350　FL+2,200　FL+1,300
BZ-L　L-1　ED
5.5°(VE16)
EM-CET38°(GLT42)　1φ3W200/100V
異種管接続材
EM-CET38°(FEP50)　1φ3W200/100V
以降配置図参照

2,000　2,000　2,000　2,000　2,000　2,000　2,000　2,000
16,000

X1　X2　X3　X4　X5　Y1　Y2　Y3　Y4

200　800　2,400　3,500　1,100　1,500　200　6,200　5,800　1,000　3,500　2,500　1,700　800　6,000

配線凡例

記号	内容
2.0	EM-IE2.0×2,E2.0(PF16)
AE	EM-AE1.2－2C：壁立下げ部(PF16)保護
AE	EM-AE1.2－4C：壁立下げ部(PF16)保護

HIROTO SUZUKI ARCHITECTS&ASSOCIATES
〒980-0871　仙台市青葉区八幡1-10-14 SAU02　TEL 022-722-7822 FAX 022-722-7823
一級建築士 NO.233021 鈴木　弘二

DATE　2012.11.22
NAME　INUKAI
CHECK　SUZUKI-D

PROJECT　七ヶ浜町民テニスコート等改築工事
DRAWING　電灯幹線・誘導支援設備等平面図・分電盤結線図
SCALE　1/50